2027年3月期
第2四半期（中間期）
決算説明資料

2026年11月6日

フジ・メディア・ホールディングス

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

SBIグループとの戦略的資本業務提携

■概要

・メディア・コンテンツ領域における新たな価値創造と企業価値向上を図ることを目的として、**資本業務提携契約を締結しました。**

・本提携に基づく各施策を共同で推進する中核的な事業基盤として、コンテンツ・IPを起点に、ライブ・イベント等のリアルな場を通じて顧客との継続的な関係を育む「リアルメディア」領域を中核とする**合弁会社を設立**し、さまざまな事業を進めていく方針です。

■合弁会社設立後の具体的な取り組み

・リアルメディア領域における提携事業の第一弾として、リアルイベントを起点に、アイドルをはじめとするアーティストとファンが年間を通じてつながるファンプラットフォーム事業を担う子会社の設立を検討します。

・FMHグループが長年培ってきた番組・イベントの企画制作力及びメディア発信力と、SBIグループの8,800万を超える顧客基盤（2026年9月末時点）並びに決済・デジタル領域の技術基盤等を組み合わせ、国内で確立したモデルを、アジアを起点に海外へ展開することを目指しています。【詳しくは2026年11月2日付リリースをご参照ください】
SBIグループとフジ・メディア・ホールディングスによる メディア・コンテンツ領域における戦略的資本業務提携のお知らせ

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業への外部資本導入の検討状況について

■**順調に検討が進んでいます。**
公表後、**多数の事業会社やファンドから、さまざまなご提案**をいただいております。
ご提案いただいた**手法、時期、規模等について**、当社グループの企業価値及び
株主共同の利益の最大化の観点から、**前向きに検討を進めています**。

■本件に関して、さまざまな報道がなされていますが、
いずれの報道の内容も、当社が発表したものではありません。
しかし、上述の通り、**本件は前向きに検討が行われています。**
今後、公表する必要のある事項が決定され次第、適切に開示する方針です。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第2四半期（中間期）　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

4 グループビジョンの進捗

5 サステナビリティの取り組み

6 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 **2027年3月期　第2四半期（中間期）　決算概要**

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

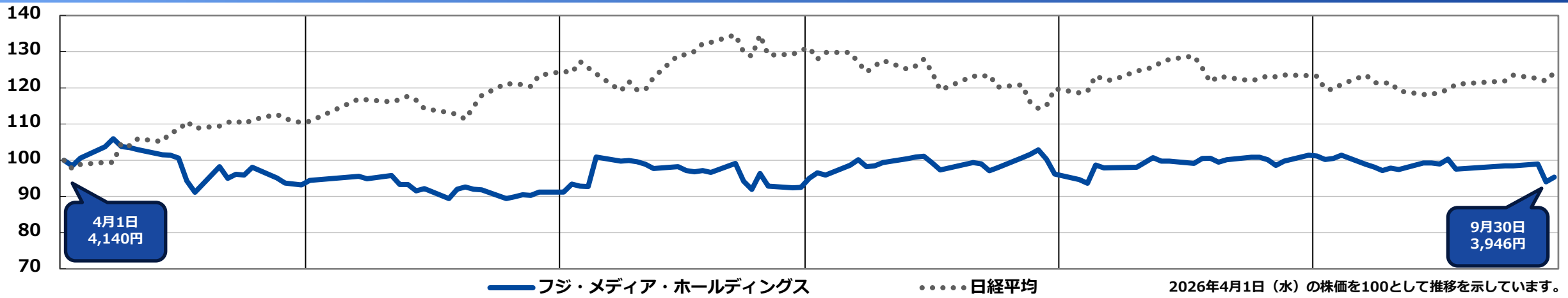
4 グループビジョンの進捗

5 サステナビリティの取り組み

6 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

今期の動き



2026年4月1日（水）の株価を100として推移を示しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
FMH		・「グループビジョン2026-2030ver.1.0」公表	・当社株式を対象とする大規模買付行為等への対応方針の有効期間満了による終了 ・取締役及び執行役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分決議 ・SBIグループとメディア・コンテンツ領域における戦略的資本業務提携に向けた協議検討を開始		・従業員持株会に対する譲渡制限付株式としての自己株式処分決議 ・取締役（執行役員を兼務する者に限る）および取締役を兼務しない執行役員の報酬制度の決定	・2026年度第1回「FMHリスクポリシー委員会」開催
メディア・コンテンツ	・フジテレビ 縦型ショートドラマアプリ「FOD SHORT」北米でのサービス開始 「アドレッサブルTV」が映像情報メディア学会第53回技術振興賞・進歩開発賞を受賞 ・ニッポン放送 『いま、地球がアツい！』が「Media is Hope AWARD 2025」シリーズ賞受賞	・フジテレビ ドイツ国際映像祭「ワールド・メディア・フェスティバル2026」で初の金賞受賞 ・クオラス 新会社「quaras digital」を設立 ・フジ・ネクステラ・ラボ 生成AIを活用した開発システムが「第三回日本新規事業大賞」審査員特別賞を受賞	・フジテレビ 新webtoonレーベル「TOON8」始動 第52回放送文化基金賞で『AI実験バラエティシンギュラ』がエンターテインメント部門優秀賞を、「アドレッサブルTV技術」が放送技術部門を受賞 「AI利活用ポリシー」の策定・公表	・フジテレビ 映画『ちいかわ 人魚の島のひみつ』公開	・フジテレビ FOD SHORTドラマ『ミッシングトレイン』がアジア国際コンテンツアワード『コンテントアジア・アワード2026』にて銀賞受賞 ・ビーエスフジ 「BSフジ4K」放送終了日を発表	・フジテレビ 日本民間放送連盟賞「技術部門」優秀賞受賞 映画『踊る大捜査線 N.E.W. メトロポリスを駆け抜けろ！』公開
都市開発・観光	・サンケイビル 「（仮称）江戸川区西葛西七丁目賃貸レジデンス計画」開発着手	・サンケイビル 「ルフォンプログレ高田馬場ノース」「S-LINKS北新宿」竣工	・グランビスタ 神戸須磨シーワールドが博物館法に基づく「登録博物館」に認定	・サンケイビル 「BLISSTIA SUITES & RESORT 沖縄恩納村」「KiGi AKIHABARA」開業 「（仮称）板橋区板橋一丁目賃貸レジデンス計画」「ルフォン蔵前グランスイート」開発着手	・グランビスタ 「YOKI MATSUSHIMA」開業	

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

事業・業績概要

メディア・コンテンツ事業 増収増益（黒字化）

2018年度の本セグメント区分後、過去最高益

フジテレビのデジタルやアニメが牽引するコンテンツビジネスが引き続き好調な上、放送収入が回復し増収増益
ビーエスフジの増収増益に加え、カタログ売却も貢献し、**セグメント全体では増収増益、営業利益は本セグメント区分を導入した2018年度以降、上期として過去最高益**

■フジテレビ：増収増益（黒字化）

□コンテンツ・ビジネス：増収増益

・デジタル：FODの高価格帯の「F1」プラン会員数の堅調な推移に伴い収入増
　外部プラットフォーム向けコンテンツ販売も好調で増収
・アニメ　：「めざましテレビ」内放送中で映画も好調な「ちいかわ」や
　「パペットスンスン」等が貢献

□放送・メディア：増収増益

・放送収入：ネット・ローカル・スポット全てが前期比で大幅回復・増収
・配信広告：前期比で大幅増収、回復基調続く
・番組費　：ワールドカップサッカー、バレーボールアジア選手権放映等の
　スポーツ単発があり 前期比増加したが、効率化は継続

■各社：

□ポニーキャニオン：アニメの海外番販や音楽・映像の配信の増収に加え
　前期計上の出資金評価損の影響もあり、増収増益（黒字化）
□dinos：テレビ通販の苦戦等により減収だが、カタログ制作費等効率化が奏功し増益（黒字化）

グループビジョン

2030年度目標：ROE6%　営業利益350億円+α
重点強化領域：
①IP開発・獲得
②制作・ディストリビューション強化
③IP多角展開
成長投資枠：総額1500億円～

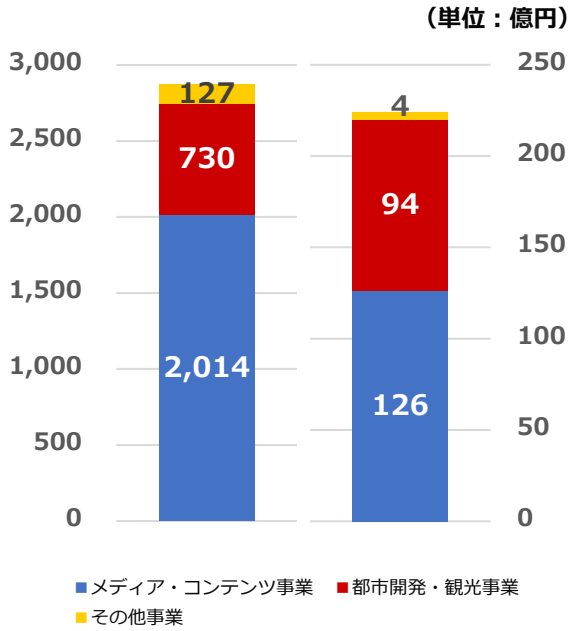
連結 増収増益（黒字化）

2008年10月の持株会社制移行後、過去最高益

メディア・コンテンツ事業は、フジテレビの好調な放送収入やコンテンツ・ビジネス、ポニーキャニオン等の黒字化等で増収増益
都市開発・観光事業は、販売・売却事業の前期反動減や観光事業の減収により減収減益となったが、**連結トータルでは増収増益、連結営業利益は、2008年10月の持株会社制移行後、過去最高**

売上高
2,776億円
（11.6%増収）

営業利益
210億円
（黒字化）



都市開発・観光事業 減収減益

「賃貸」増収、「販売・売却」「観光」減収

サンケイビルはオフィスやレジデンス等の賃貸収入は増収だが前期の分譲マンション販売等の反動減があり減益
グランビスタは銀座グランドホテルの改装休館や神戸須磨シーワールドのオープニング期からの反動で減益、**セグメント全体では減収減益**

■サンケイビル：減収減益

□賃貸：オフィスやレジデンス等の賃貸事業は好調で増収だが新規稼働物件に係る初期経費等の発生が影響し減益
□販売・売却：ルフォンプログレ中野富士見町ザ・レジデンス等の売却があったが、前期の大型分譲案件の反動減が影響し減益

■グランビスタ ホテル&リゾート：減収減益

札幌グランドホテルは好調に推移したものの、
銀座グランドホテルの改装休館や神戸須磨シーワールドのオープニング期からの反動減で減収、
新規物件開設に伴う初期費用増も影響し減益

2026年度見込み

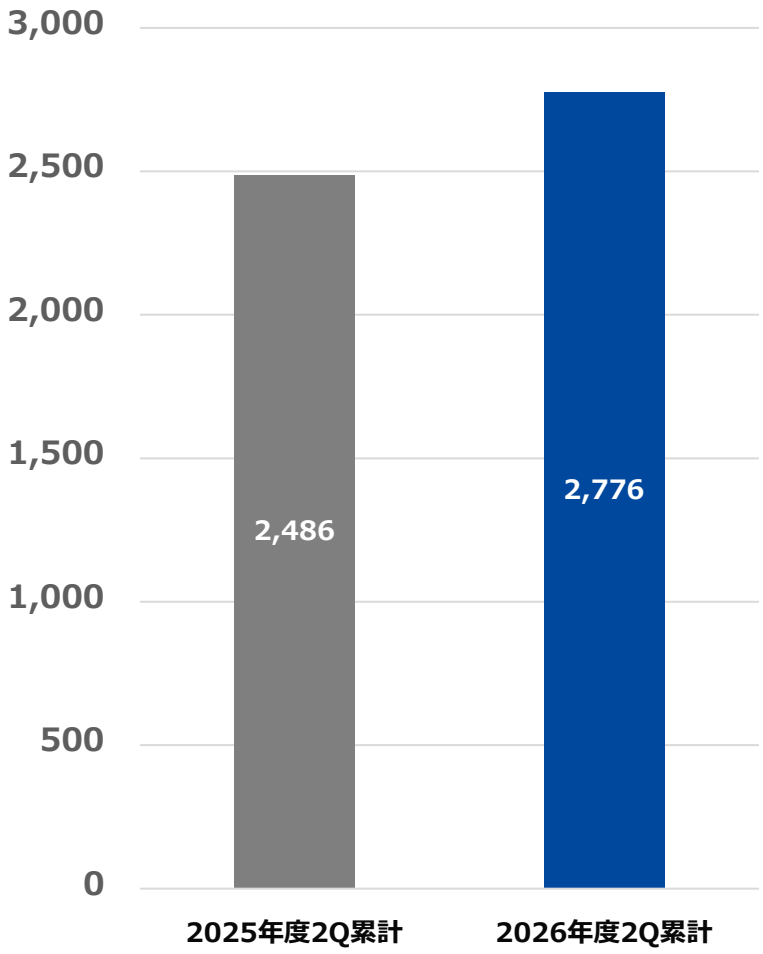
グループビジョン初年度、増収黒字化見込み
株主還元：年間配当200円見込み

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

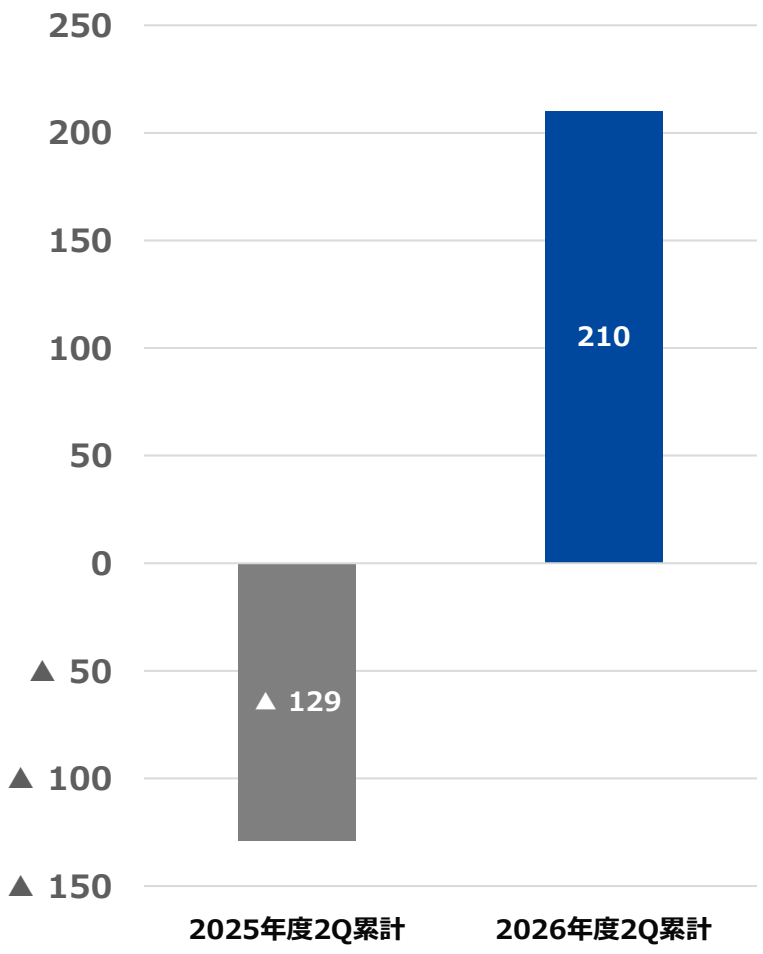
連結 ポイント

（単位：億円）

連結売上高：11.6%増収

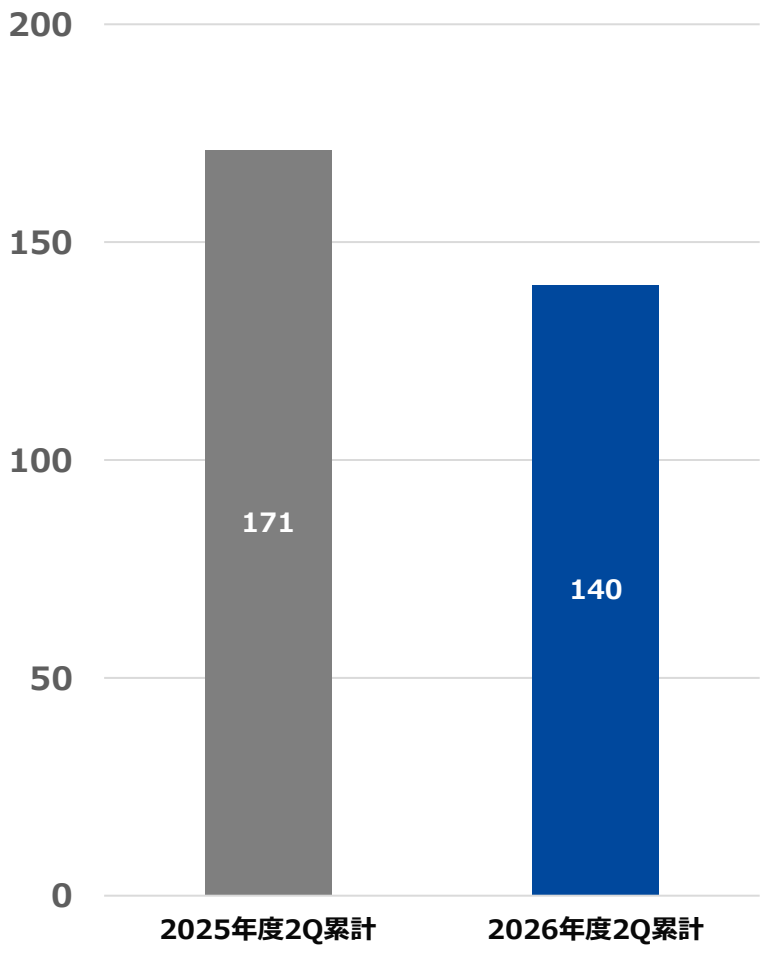


連結営業損益：黒字化



親会社株主に帰属する

中間純利益：18.2%減益



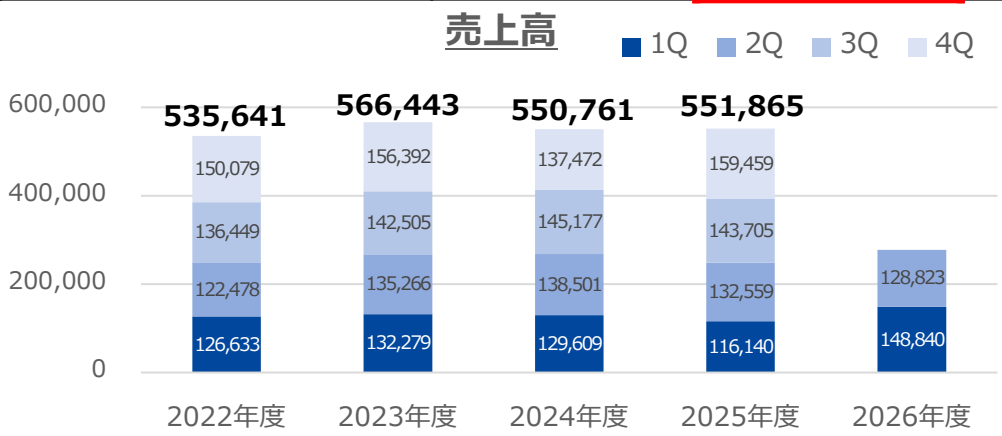
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

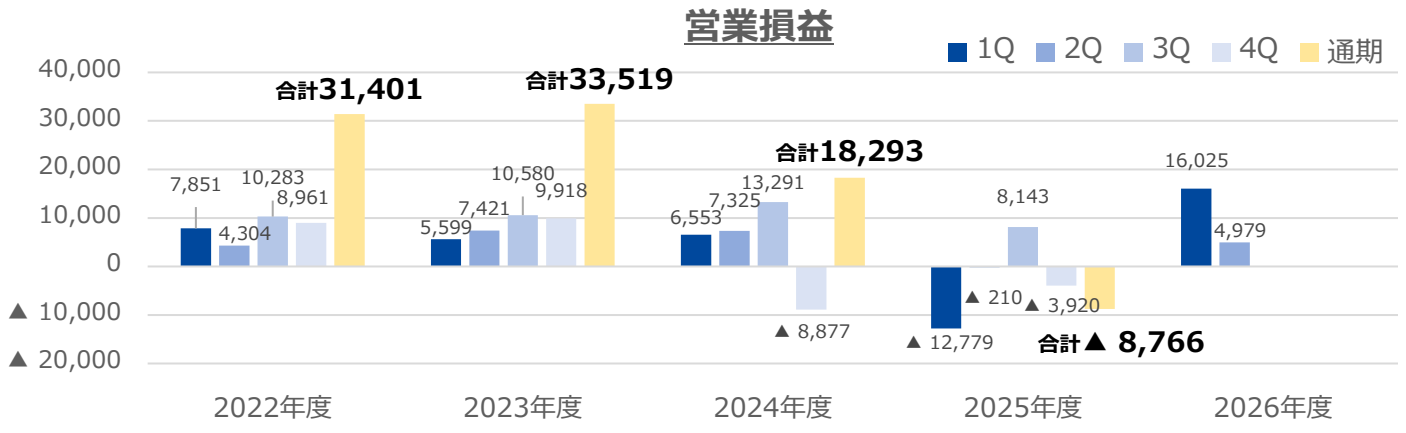
連結 決算概要

連結営業利益は、2008年10月の持株会社制移行後、過去最高益

（単位：百万円）

	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減		通期 業績予想 (26/5/12)	対通期予想 達成率	
売上高	248,699	**277,664**	28,964	11.6%	625,700	▲348,035	44.4%
営業損益	▲12,990	**21,005**	33,995	—	40,100	▲19,094	52.4%
経常損益	▲10,892	**21,600**	32,492	—	38,300	▲16,699	56.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	17,115	**14,001**	▲3,114	▲18.2%	26,100	▲12,098	53.6%





© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 売上高及び営業損益

メディア・コンテンツ事業の営業利益は、本セグメント区分導入の2018年度以降、過去最高

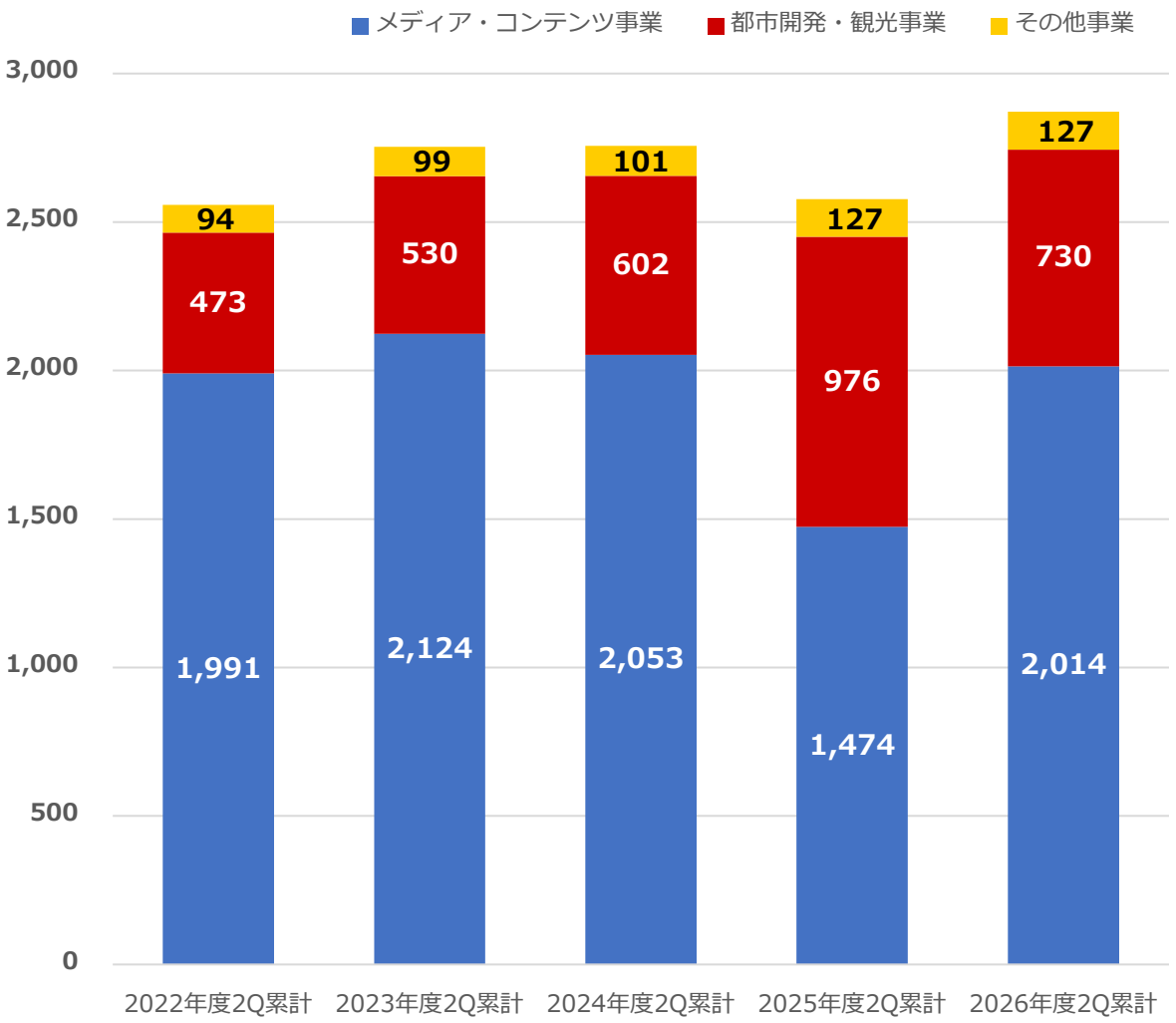
（単位：百万円）

	事業セグメント				計	調整額	連結損益計算書計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
売上高	**2026年度2Q累計**	**201,402**	**73,053**	**12,792**	**287,248**	**▲9,584**	**277,664**
	2025年度2Q累計	147,422	97,657	12,707	257,787	▲9,088	248,699
	増　減	53,980	▲24,604	85	29,460	▲496	28,964
	増減（%）	36.6%	▲25.2%	0.7%	11.4%	—	11.6%
営業損益	**2026年度2Q累計**	**12,646**	**9,480**	**474**	**22,600**	**▲1,595**	**21,005**
	2025年度2Q累計	▲29,271	18,066	644	▲10,560	▲2,429	▲12,990
	増　減	41,917	▲8,586	▲169	33,161	834	33,995
	増減（%）	—	▲47.5%	▲26.4%	—	—	—
営業損益率	**2026年度2Q累計**	**6.3%**	**13.0%**	**3.7%**	**7.9%**	**—**	**7.6%**
	2025年度2Q累計	▲19.9%	18.5%	5.1%	▲4.1%	—	▲5.2%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

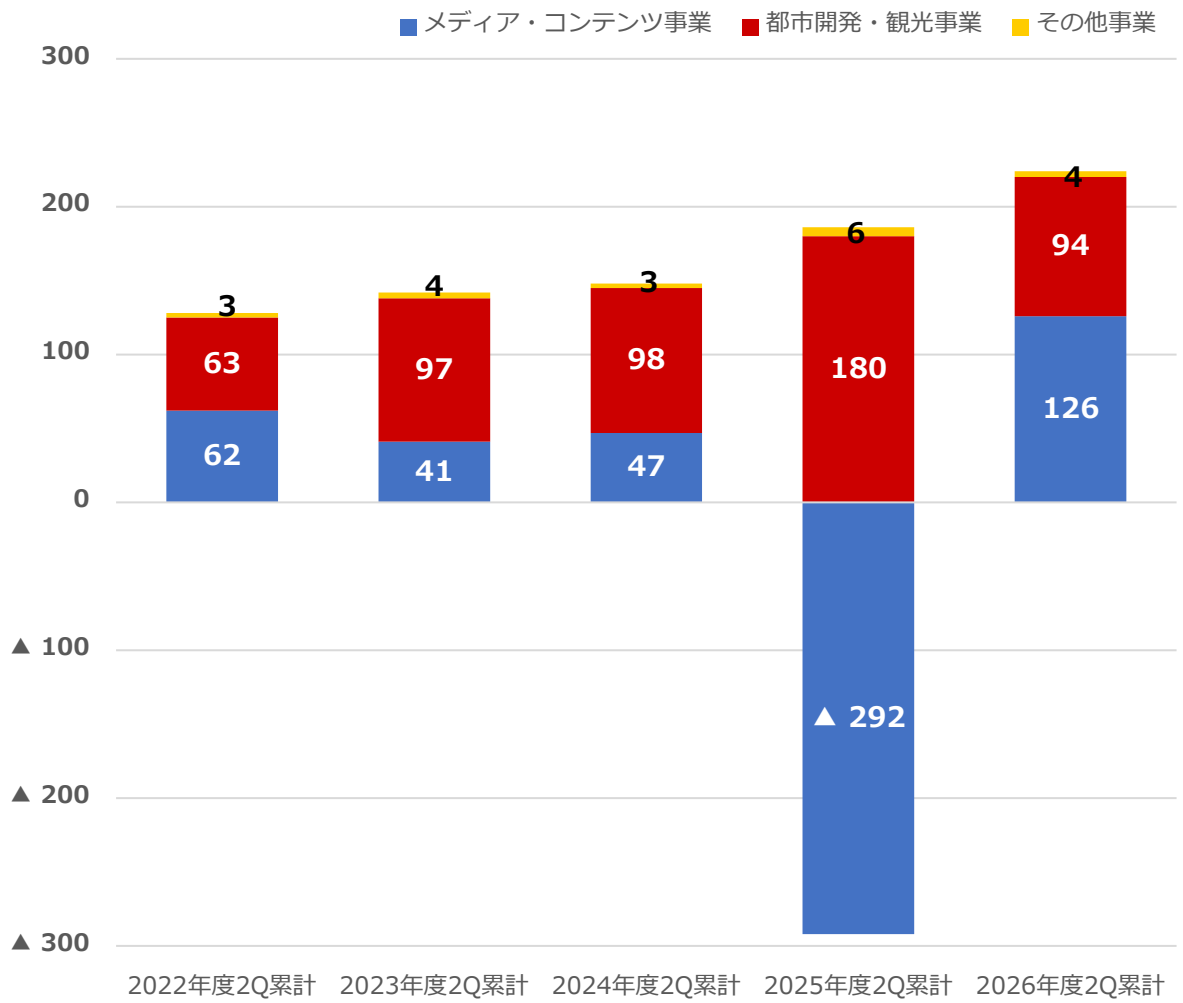
セグメント別 売上高・営業損益推移

売上高



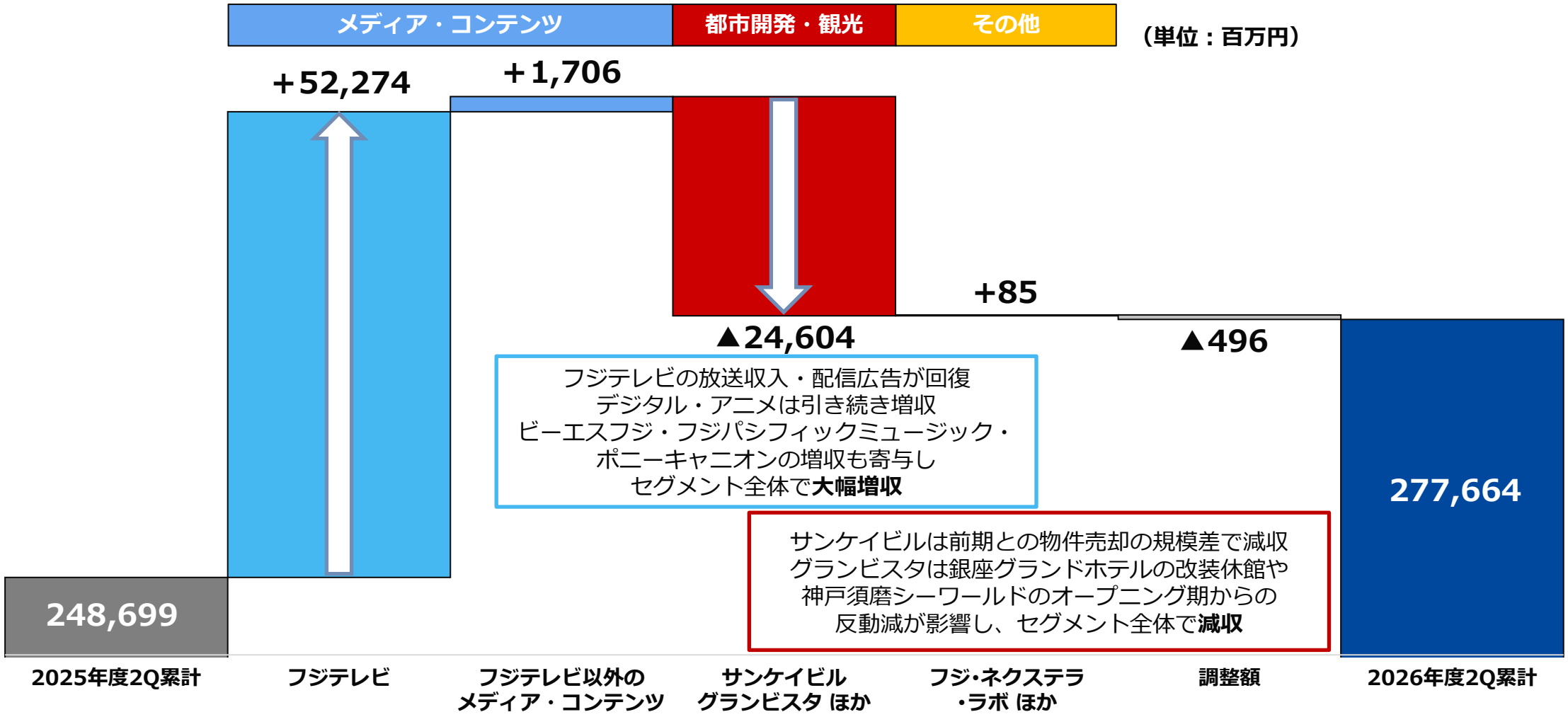
営業損益

（単位：億円）



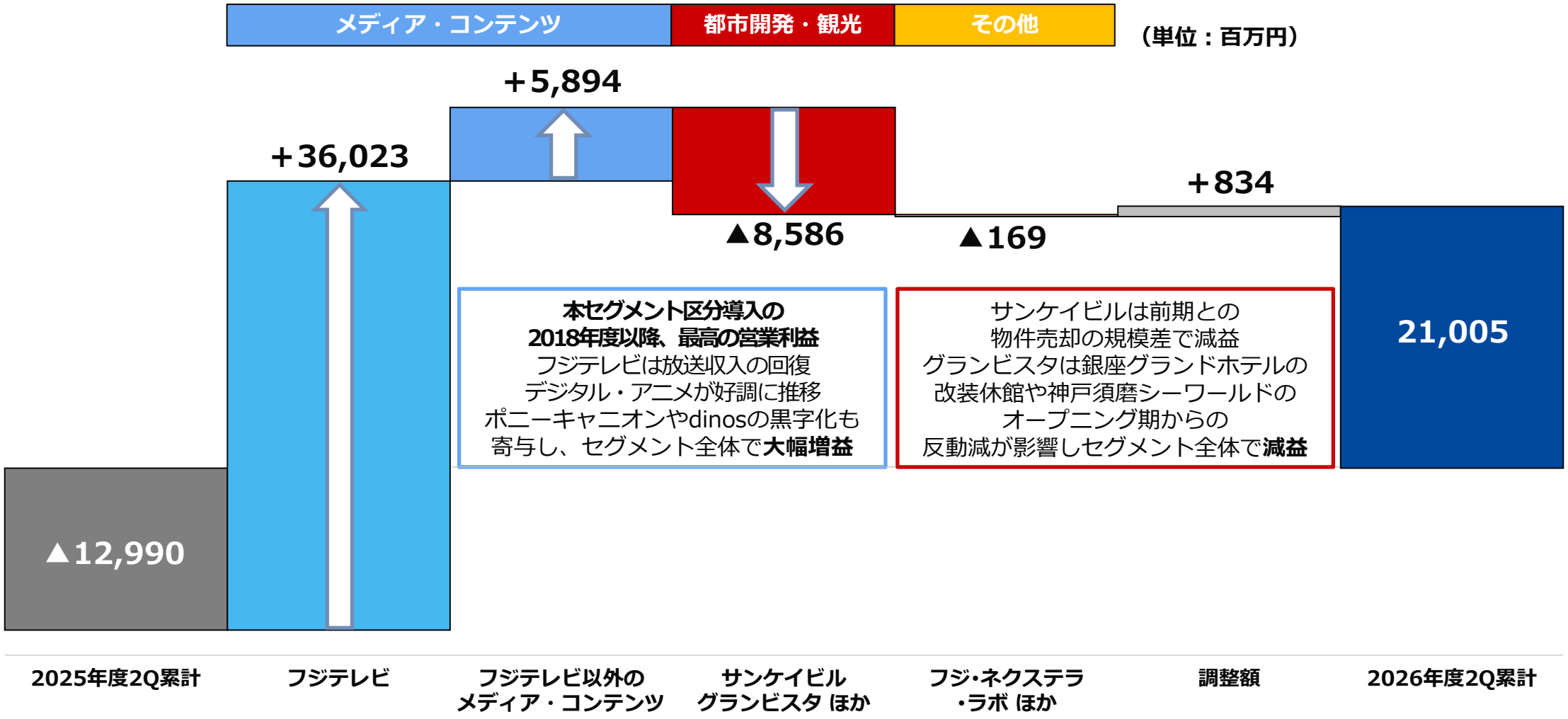
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 売上高と増減要因



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 営業損益と増減要因



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

連結 営業外収益・費用の主な内容

（単位：百万円）

	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減	
営業外収益				
受取配当金	2,530	2,598	68	2.7%
持分法による投資利益	340	608	267	78.5%
その他	1,193	1,789	595	49.9%
営業外収益合計	4,064	**4,995**	931	22.9%
営業外費用				
支払利息	1,536	3,913	2,377	154.8%
その他	430	487	56	13.1%
営業外費用合計	1,966	**4,400**	2,434	123.8%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

連結 特別利益・損失の主な内容

（単位：百万円）

	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減	
特別利益				
投資有価証券売却益	49,812	305	▲49,506	▲99.4%
会員権売却益	—	94	94	—
その他	271	27	▲244	▲90.0%
特別利益合計	50,083	**426**	▲49,657	▲99.1%
特別損失				
独占禁止法関連損失引当金繰入額	—	1,428	1,428	—
特別退職金	—	482	482	—
建替関連損失	1,530	—	▲1,530	▲100.0%
その他	451	285	▲165	▲36.7%
特別損失合計	1,981	**2,196**	214	10.8%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

連結 貸借対照表

（単位：百万円）

	2025年度4Q末	2026年度2Q末	前期末比増減		2025年度4Q末	2026年度2Q末	前期末比増減
流動資産	390,667	399,155	8,487	**流動負債**	423,652	425,115	1,463
現金及び預金	84,265	90,860	6,594	買掛金	43,210	38,582	▲4,628
売掛金等	99,201	92,070	▲7,130	短期借入金	277,577	313,947	36,369
有価証券	72,551	59,690	▲12,861	その他	102,864	72,586	▲30,277
棚卸資産	89,649	110,928	21,278	**固定負債**	479,608	522,587	42,979
その他	44,999	45,605	605	社債	22,000	22,000	—
固定資産	1,074,060	1,114,850	40,790	長期借入金	315,557	354,752	39,194
有形固定資産	615,910	644,040	28,129	その他	142,050	145,835	3,784
建物及び構築物	190,934	192,927	1,993	**株主資本**	424,265	424,082	▲183
土地	388,581	407,186	18,604	資本金等	504,212	503,740	▲471
その他	36,393	43,925	7,531	自己株式	▲79,946	▲79,658	288
無形固定資産	24,164	23,864	▲300	**その他の包括利益累計額**	122,453	127,012	4,558
投資その他の資産	433,985	446,946	12,960	**非支配株主持分**	14,748	15,208	459
資産合計	**1,464,728**	**1,514,006**	**49,278**	**負債・純資産合計**	**1,464,728**	**1,514,006**	**49,278**

【参考】
都市開発関連資産
（決算期末時点）

		2024年度4Q末	2025年度4Q末	前期末比増減
棚卸資産	販売用不動産	46,892	37,780	▲9,112
	仕掛販売用不動産	13,152	11,570	▲1,581
	開発不動産	4,808	16,274	11,465
有形固定資産	賃貸等不動産	348,054	410,530	62,475

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 決算のポイント

※フジテレビの決算のポイントはP.19をご参照ください

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

ビーエスフジ

増収増益

イベントの開催に加え、
タイムがレギュラー、単発ともに好調な上に、
スポットの出稿も伸び、売上高全体で増収
さらに費用抑制もあり増益

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

ポニーキャニオン

増収増益（黒字化）

「リィンカーネーションの花弁」
「異世界のんびり農家2」等のアニメの
海外番販、音楽パッケージや配信が好調で増収
出資金の評価洗替による戻入益もあり、増益・黒字化

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

フジクリエイティブコーポレーション

減収減益

前期にあった自社制作アニメの反動減や
レギュラー番組の減少により、減収
前期に制作したアニメの償却などにより、減益

制作・ディストリビューション | IP多角展開

dinos

減収増益（黒字化）

主力の家具収納・リビングは堅調だったが
テレビ通販の減収を補いきれず、減収
販促費やカタログ経費の見直しが奏功し
増益・黒字化

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

ニッポン放送

増収増益

聴取率が好調で主力番組を中心にタイム収入が
増収。radiko、コンテンツ配信、イベント等も
貢献し、増収増益

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

フジパシフィックミュージック

増収増益

著作権使用料収入の堅調な推移に加え
コンサート等の映像制作収入も貢献し、増収
売上高は上期としては過去最高を記録
前期計上した費用の反動減や、販管費の減少
も寄与し、増益

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

クオラス

減収減益

テレビ、マーケティングプロモーションが
好調だったが、イベントの反動減を補えず、
減収減益

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度 2Q累計	**2026年度 2Q累計**	前期比	2025年度 2Q累計	**2026年度 2Q累計**	前期比	2025年度 2Q累計	**2026年度 2Q累計**	増減
フジテレビジョン	60,684	**112,958**	52,274 (86.1%)	▲32,737	**3,286**	36,023 (—)	▲53.9%	2.9%	56.8%
ビーエスフジ	6,474	**7,056**	582 (9.0%)	804	**1,498**	693 (86.2%)	12.4%	21.2%	8.8%
ニッポン放送	6,442	**7,045**	602 (9.4%)	302	**425**	123 (40.8%)	4.7%	6.0%	1.3%
フジクリエイティブコーポレーション	6,898	**5,830**	▲1,068 (▲15.5%)	572	**217**	▲355 (▲62.0%)	8.3%	3.7%	▲4.6%
共同テレビジョン	6,518	**6,290**	▲227 (▲3.5%)	141	**17**	▲123 (▲87.3%)	2.2%	0.3%	▲1.9%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度 2Q累計	**2026年度 2Q累計**	前期比	2025年度 2Q累計	**2026年度 2Q累計**	前期比	2025年度 2Q累計	**2026年度 2Q累計**	増減
ポニーキャニオン	13,559	**14,089**	530 (3.9%)	▲842	**13**	856 (—)	▲6.2%	0.1%	6.3%
フジパシフィックミュージック	5,797	**6,404**	606 (10.5%)	384	**644**	260 (67.8%)	6.6%	10.1%	3.5%
d i n o s	20,631	**19,947**	▲684 (▲3.3%)	▲97	**10**	107 (—)	▲0.5%	0.1%	0.6%
ク オ ラ ス※	19,326	**15,374**	▲3,951 (▲20.4%)	1,133	**917**	▲216 (▲19.1%)	5.9%	6.0%	0.1%
その他及びセグメント内修正等	1,087	**6,404**	—	1,067	**5,614**	—	—	—	—
セグメント合計	147,422	**201,402**	53,980 (36.6%)	▲29,271	**12,646**	41,917 (—)	▲19.9%	6.3%	26.2%

※クオラスの広告出稿の実取扱高を含めた売上高は前期31,572百万円、当期28,154百万円。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 決算のポイント

コンテンツ・ビジネス

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

デジタル：増収

■**FOD**
地上波との連動や、独占配信コンテンツの調達等のコンテンツ戦略、
「F1」のプレミアムプラン導入による加入者増に伴う会員収入増

■**配信権ディストリビューション**
外部配信プラットフォームへの地上波ドラマ・バラエティの配信権販売が引き続き好調

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

映画：減収

■**国内劇場公開**
「踊る大捜査線 N.E.W.」などが貢献

■**海外ディストリビューション**
「箱の中の羊」海外展開が好調

■**配信権ディストリビューション**
新作・ライブラリー作品の外部配信プラットフォームへの配信権販売が引き続き好調
映画「爆弾」はNetflixにおいて日本の週間 TOP10（映画）で9週連続1位を獲得
（2026年3月30日週～5月31日まで）

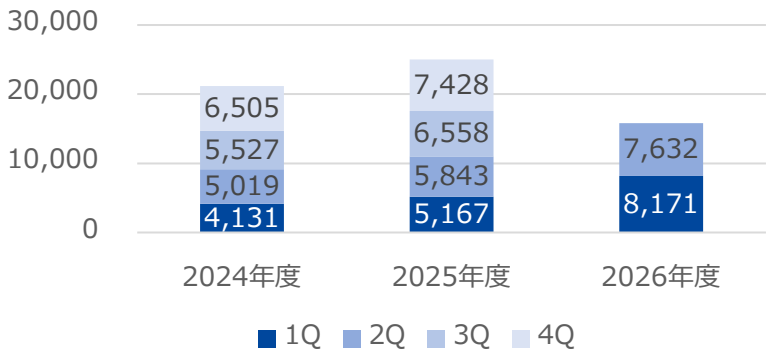
IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

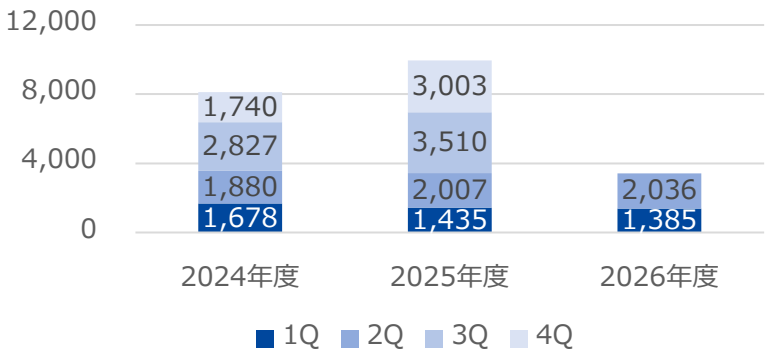
アニメ：増収

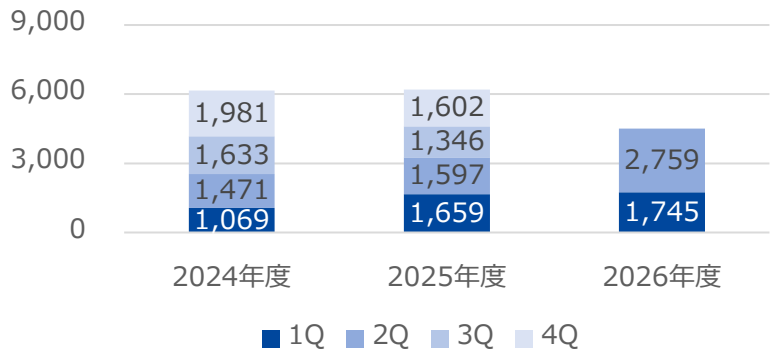
■**人気ショートムービー**
「ちいかわ」、「パペットスンスン」等の人気作品関連が貢献

■**配信関連**
「暗殺教室」、「うる星やつら」をはじめとする過去作品の二次利用（海外含む）が堅調

（単位：百万円）







© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 決算のポイント

コンテンツ・ビジネス

IP開発・獲得　制作・ディストリビューション　IP多角展開

ライブエンタメ：減収

「TOKYO IDOL FESTIVAL 2026」や
「めざましWANGANフェス」等が
寄与したが、実施イベント等の規模差が
あり減収

IP開発・獲得　制作・ディストリビューション　IP多角展開

グローバル：減収

新旧ドラマやバラエティ等の
グローバル配信プラットフォームへの
展開が引き続き好調。
「料理の鉄人」や「新しいカギ」などの
フォーマット展開やライブラリードラマの
リメイク展開も貢献

IP開発・獲得　制作・ディストリビューション　IP多角展開

CS：増収

「F1」ファン獲得による会員収入増
「ヤクルトスワローズ」
「西武ライオンズ」
「プロ野球ニュース」などの
野球コンテンツでの継続会員収入が貢献

放送・メディア

制作・ディストリビューション

放送収入：増収

■**タイム・スポット**
ネットタイムは、大型スポーツコンテンツが寄与し堅調
スポットは、第1四半期は事案前水準まで回復、
第2四半期は戦略的セールスにより売上を堅調に確保

制作・ディストリビューション

その他放送・メディア収入：増収

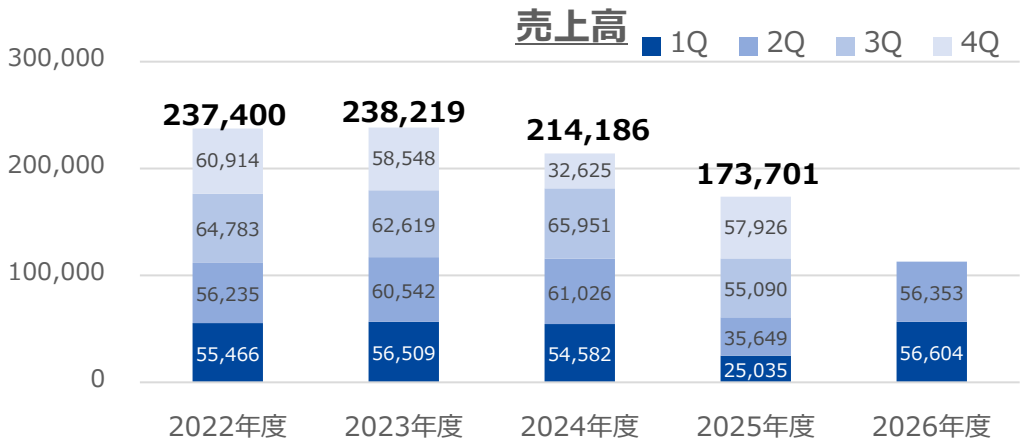
■**配信広告**
市況が厳しい中、第2四半期以降に戦略を変更
復調基調で第3四半期に挑む

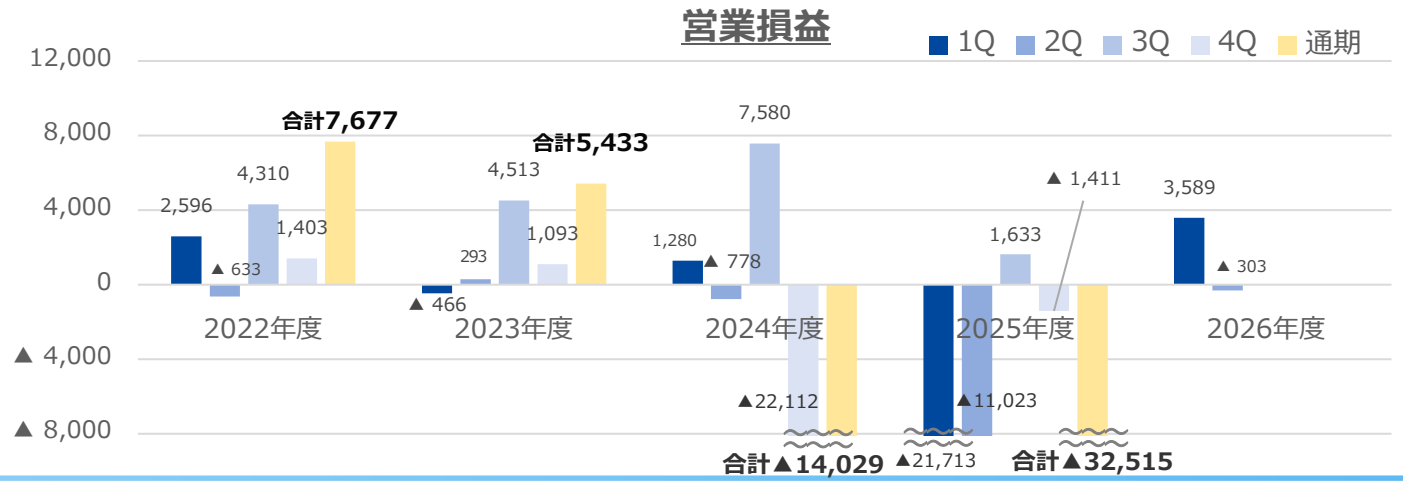
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 決算概要

（単位：百万円）

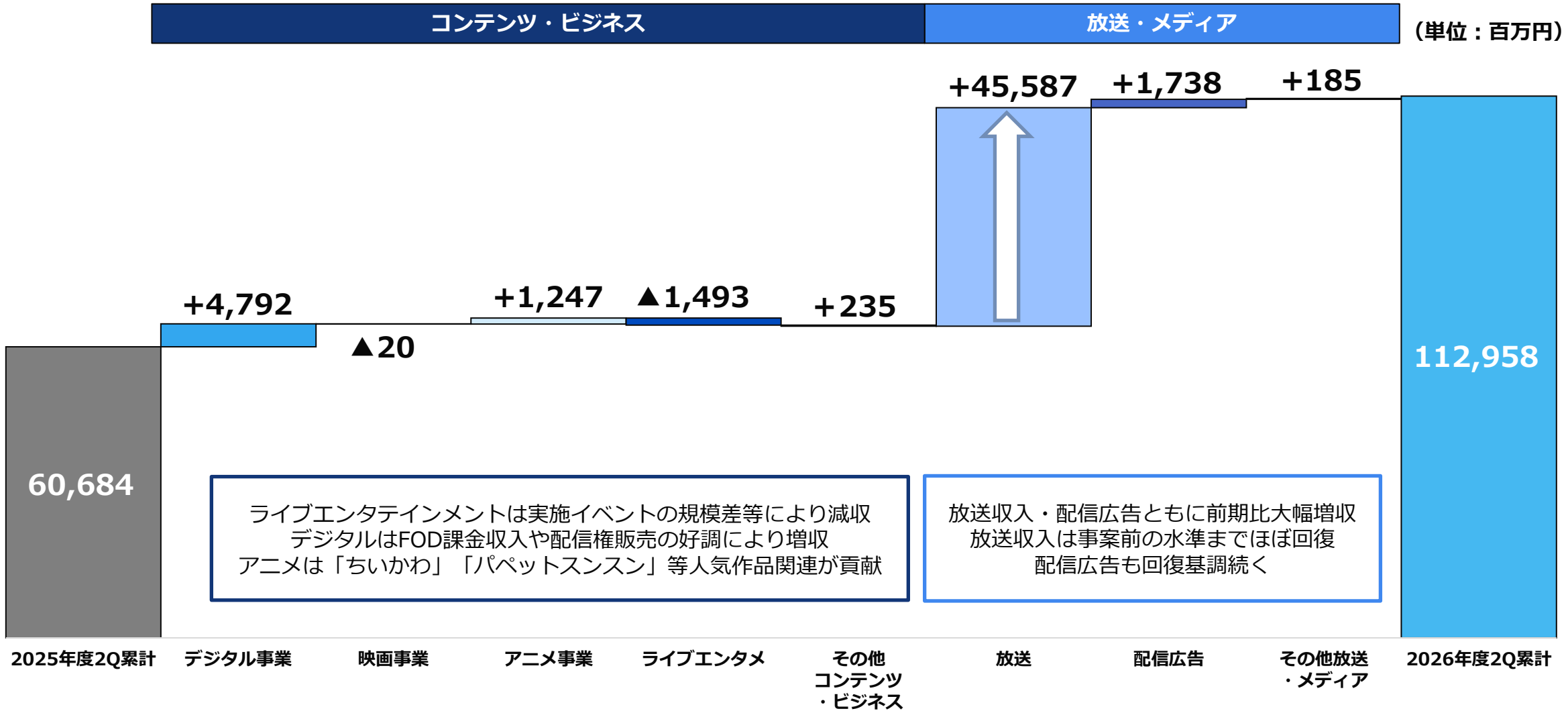
	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減	
売上高	60,684	**112,958**	52,274	86.1%
営業損益	▲32,737	**3,286**	36,023	—
経常損益	▲32,474	**3,554**	36,028	—
中間純損益	▲30,127	**3,757**	33,885	—





© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 売上高と増減要因



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

内訳別の収入及び粗利益

（単位：百万円）

		内訳		計
		コンテンツ・ビジネス	放送・メディア	
収入	**2026年度2Q累計**	**36,973**	**75,985**	**112,958**
	2025年度2Q累計	32,211	28,473	60,684
	増　減	4,762	47,511	52,274
	増減（%）	14.8%	166.9%	86.1%
粗利益	**2026年度2Q累計**	**12,085**	**19,891**	**31,976**
	2025年度2Q累計	9,579	▲24,167	▲14,587
	増　減	2,505	44,058	46,563
	増減（%）	26.2%	—	—

粗利益率	**2026年度2Q累計**	**32.7%**	**26.2%**	**28.3%**
	2025年度2Q累計	**29.7%**	**—**	**—**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

販管費及び営業外損益概要

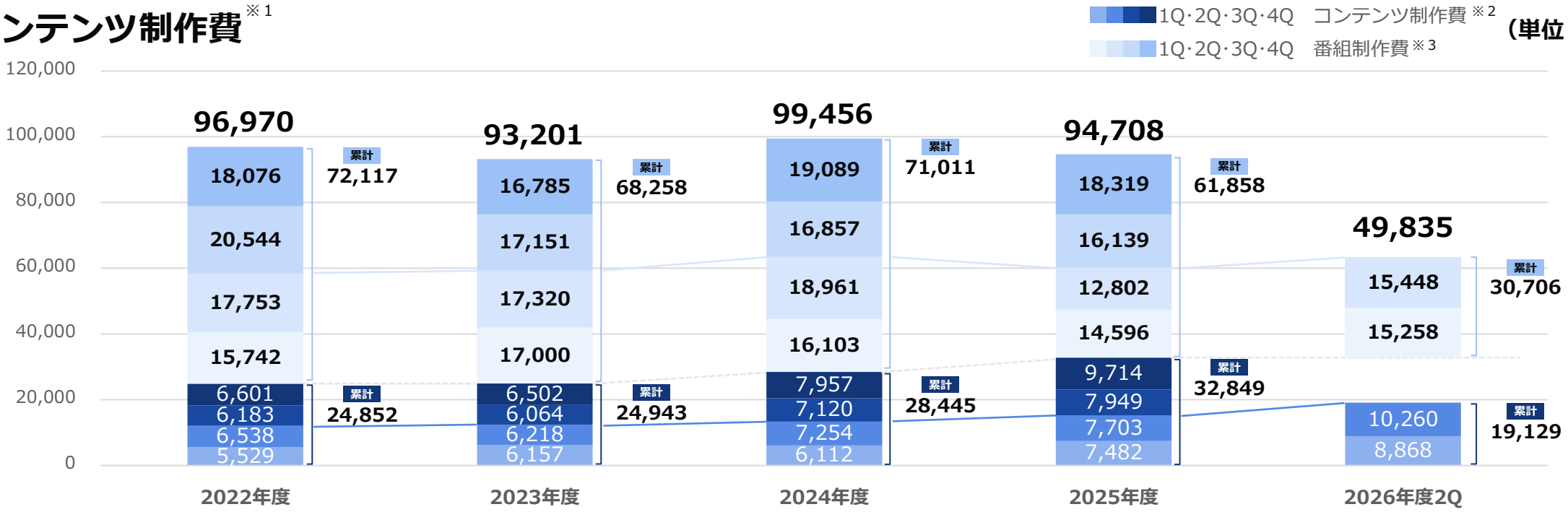
（単位：百万円）

	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減	
販売費及び一般管理費	18,149	28,690	10,540	58.1%
販売費	10,354	20,313	9,959	96.2%
一般管理費	7,795	8,376	581	7.5%
営業費用合計	**93,421**	**109,672**	**16,250**	**17.4%**
営業損益	**▲32,737**	**3,286**	**36,023**	**—**
営業外収益	426	393	▲32	▲7.6%
営業外費用	163	125	▲37	▲23.1%
経常損益	**▲32,474**	**3,554**	**36,028**	**—**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ コンテンツ投下額（総コンテンツ制作費・コンテンツ勘定）

■総コンテンツ制作費※1



■コンテンツ勘定※4



※1　総コンテンツ制作費：コンテンツ制作費及び番組制作費の合計額
※2　コンテンツ制作費：デジタル事業原価、アニメ事業原価、CS事業原価及び映画事業原価の合計額
※3　番組制作費：自社制作番組及び購入番組の直接費
※4　コンテンツ勘定：番組勘定、仕掛品及び前渡金の合計額

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

コンテンツ・ビジネス 収入と原価

（単位：百万円）

	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減	
コンテンツ・ビジネス収入	**32,211**	**36,973**	**4,762**	**14.8%**
ライブエンタテインメント事業収入	3,970	2,477	▲1,493	▲37.6%
映画事業収入	3,442	3,421	▲20	▲0.6%
デジタル事業収入	11,011	15,803	4,792	43.5%
MD事業収入	2,284	2,759	474	20.8%
アニメ事業収入	3,256	4,504	1,247	38.3%
ビデオ事業収入	650	367	▲283	▲43.6%
グローバル配信事業収入	1,164	1,020	▲143	▲12.4%
CS事業収入	5,402	5,539	137	2.5%
その他の収入	1,028	1,078	50	4.9%
コンテンツ・ビジネス原価	**22,631**	**24,888**	**2,257**	**10.0%**
コンテンツ・ビジネス粗利益	**9,579**	**12,085**	**2,505**	**26.2%**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

放送・メディア 収入と原価

（単位：百万円）

	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減	
放送・メディア収入	**28,473**	**75,985**	**47,511**	**166.9%**
放送収入	**19,086**	**64,674**	**45,587**	**238.8%**
タイム	10,144	33,571	23,426	230.9%
（ネットタイム）	7,935	30,155	22,219	280.0%
（ローカルタイム）	2,208	3,415	1,207	54.7%
スポット	8,941	31,103	22,161	247.8%
その他の放送・メディア収入	**9,387**	**11,310**	**1,923**	**20.5%**
配信広告	1,391	3,130	1,738	124.9%
番組販売	6,722	6,318	▲404	▲6.0%
その他	1,272	1,861	589	46.3%
放送・メディア原価	**52,641**	**56,094**	**3,452**	**6.6%**
放送・メディア粗利益	**▲24,167**	**19,891**	**44,058**	**—**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

放送収入 月次推移

（単位：百万円）

	2026年度					対前期比増減					対前期比				
	タイム			スポット	合計	タイム			スポット	合計	タイム			スポット	合計
	合計	内ネット	内ローカル				内ネット	内ローカル				内ネット	内ローカル		
4月	5,104	4,515	589	6,178	11,283	+4,045	+3,741	+303	+5,616	+9,662	482.1%	583.8%	206.4%	1100.1%	696.2%
5月	5,214	4,568	645	6,132	11,347	+4,070	+3,682	+387	+5,312	+9,382	455.6%	515.5%	250.1%	748.0%	577.6%
6月	6,416	5,878	537	5,229	11,646	+5,061	+4,797	+263	+4,201	+9,263	473.5%	543.8%	196.1%	508.8%	488.7%
7月	5,906	5,332	573	4,866	10,772	+4,031	+3,823	+208	+3,381	+7,413	315.1%	353.4%	157.0%	327.8%	320.7%
8月	5,611	5,056	555	3,928	9,539	+3,379	+3,366	+13	+1,843	+5,223	251.4%	299.2%	102.4%	188.4%	221.0%
9月	5,317	4,803	513	4,767	10,084	+2,837	+2,806	+30	+1,804	+4,642	214.5%	240.6%	106.4%	160.9%	185.3%
10月															
11月															
12月															
1月															
2月															
3月															

【参考】前々期比較（四半期推移）

	2026年度					対前々期比増減					対前々期比				
	タイム			スポット	合計	タイム			スポット	合計	タイム			スポット	合計
	合計	内ネット	内ローカル				内ネット	内ローカル				内ネット	内ローカル		
1Q	16,735	14,962	1,773	17,541	34,276	▲600	+28	▲629	▲435	▲1,036	96.5%	100.2%	73.8%	97.6%	97.1%
2Q	16,835	15,192	1,642	13,562	30,397	▲2,646	▲1,705	▲941	▲2,844	▲5,490	86.4%	89.9%	63.6%	82.7%	84.7%
上期	33,571	30,155	3,415	31,103	64,674	▲3,246	▲1,676	▲1,570	▲3,280	▲6,527	91.2%	94.7%	68.5%	90.5%	90.8%
3Q															
4Q															
下期															
通期															

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

スポット収入 業種別動向

（2026年4月～2026年9月）※管理ベース

業種	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減
情報・通信・放送	14.9%	16.5%	286.6%
化粧品・トイレタリー	4.6%	11.2%	751.2%
外食・各種サービス	21.7%	9.4%	50.8%
食品	5.0%	7.9%	442.9%
流通・小売業	7.0%	5.9%	196.7%
交通・レジャー・観光	8.2%	5.7%	140.9%
金融・保険	4.0%	5.5%	378.3%
自動車・関連品	1.4%	4.9%	1106.7%
非アルコール飲料	2.2%	4.5%	593.6%

業種	2025年度 2Q累計	2026年度 2Q累計	対前期増減
医薬品・医療用品	4.5%	4.4%	239.6%
出版・エンタテイメント	8.9%	4.2%	65.1%
事務・精密・光学機器	0.2%	3.6%	5305.5%
不動産・住宅設備	4.8%	3.6%	156.5%
衣料・身回品・雑貨	3.8%	3.5%	220.2%
アルコール飲料	2.1%	3.0%	390.2%
家電・ＡＶ機器	1.9%	1.8%	234.1%
電話サービス	―	1.5%	―
エネルギー・機械	0.2%	0.8%	1362.2%
その他	4.4%	2.1%	70.2%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業 決算のポイント

ポイント

減収減益　：賃貸需要は堅調だが、前期大型物件売却の反動減や神戸須磨シーワールドの反動減が影響
賃貸　　：賃料は引き続き高水準を維持、新規稼働物件に係る初期経費等の発生が影響し増収減益
販売・売却：前期の大型分譲マンション販売の反動減などで減収減益
観光　　：銀座グランドホテルの改装休館や、神戸須磨の反動減、新規ホテルの開業費用計上などで減収減益

賃貸：増収減益

■**賃貸事業全体の動向**
賃料・稼働率は引き続き高水準を維持。
新規稼働物件に係る初期経費等の発生が影響し増収減益

■**住宅・オフィス**
「S-LINKS 北新宿」など職住複合物件の稼働開始等により増収。

販売・売却：減収減益

■**賃貸マンション**
「ルフォンプログレ中野富士見町ザ・レジデンス」
（2021年8月竣工：67戸・地上3階地下1階建て）
「ルフォンプログレ高田馬場ノース」
（2026年5月竣工：105戸・地上５階建て）

■**ホテル等**
「キャプション by Hyatt なんば 大阪」
「BLISSTIA SUITES & RESORT 沖縄恩納村」
「函館湯の川温泉 海と灯」

観光（グランビスタ ホテル＆リゾート）：減収減益

■**札幌グランドホテルは引き続き好調も、一部業績押し下げ要素あり**
□ホテル市況は地域差あり
北海道はインバウンド需要が依然高く、札幌グランドホテルは引き続き好調。
ホテルインターゲート大阪 梅田は万博需要の反動減あり
□神戸須磨シーワールドはオープニング期からの反動減が見られるなか、
国内セールス・インバウンド誘客の強化に注力。鴨川シーワールドは堅調
□銀座グランドホテルの改装休館に加え、新規ホテル（沖縄・松島）の開業費用を計上

その他：減収減益

■**サンケイビルテクノ**
前期データセンター請負工事の
反動減により減収営業損失

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業 会社別概要

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度2Q累計	**2026年度2Q累計**	前期比	2025年度2Q累計	**2026年度2Q累計**	前期比	2025年度2Q累計	**2026年度2Q累計**	前期比
サンケイビル	54,001	**36,057**	▲17,943 (▲33.2%)	12,932	**6,477**	▲6,455 (▲49.9%)	23.9%	18.0%	▲5.9%
グランビスタホテル&リゾート	24,118	**23,657**	▲461 (▲1.9%)	3,739	**1,861**	▲1,877 (▲50.2%)	15.5%	7.9%	▲7.6%
その他及びセグメント内修正等	19,537	13,338	—	1,394	1,140	—	—	—	—

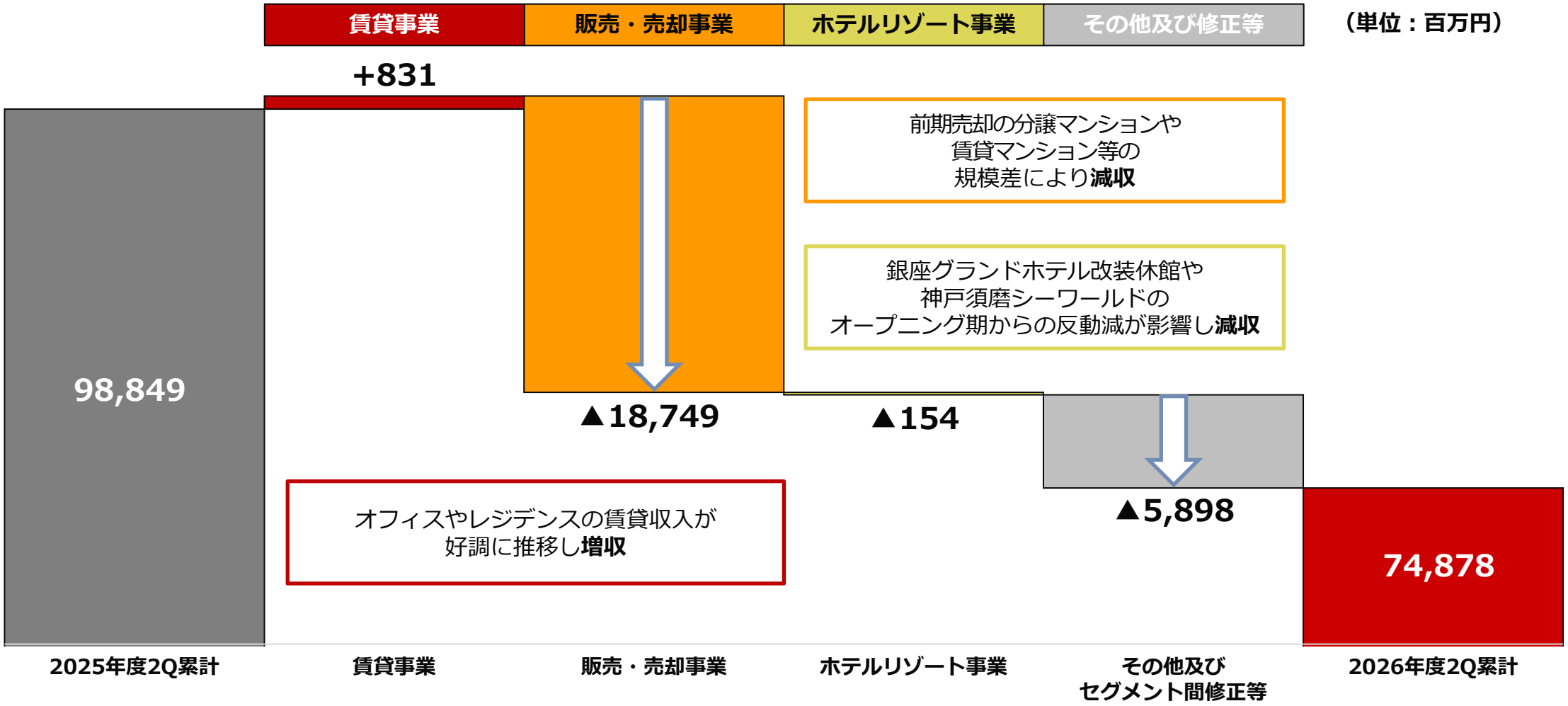
■参考：サンケイビルグループ連結事業別内訳（FMHとは連結対象が異なります）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度2Q累計	**2026年度2Q累計**	前期比	2025年度2Q累計	**2026年度2Q累計**	前期比	2025年度2Q累計	**2026年度2Q累計**	前期比
賃貸事業	13,191	**14,023**	831	2,976	**2,164**	▲811	22.6%	15.4%	▲7.2%
販売・売却事業	40,815	**22,066**	▲18,749	11,468	**6,038**	▲5,429	28.1%	27.4%	▲0.7%
ホテルリゾート事業	27,066	**26,911**	▲154	4,061	**2,217**	▲1,844	15.0%	8.2%	▲6.8%
その他及びセグメント間修正等	17,775	**11,877**	▲5,898	▲455	**▲1,036**	▲581	—	—	—

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

サンケイビルグループ連結事業別 売上高と増減要因

（FMHとは連結対象が異なります）

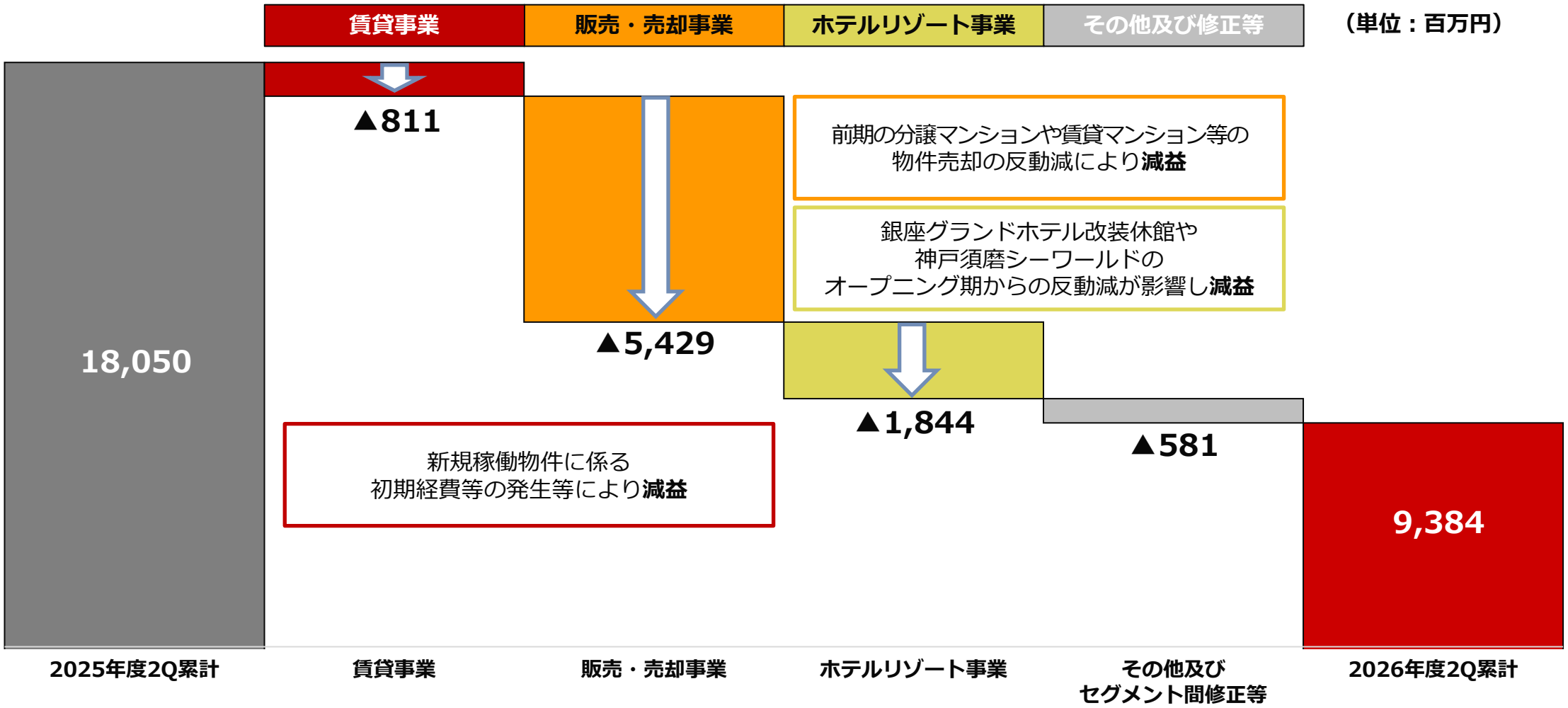


© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

サンケイビルグループ連結事業別 営業利益と増減要因

（FMHとは連結対象が異なります）

（単位：百万円）



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第2四半期（中間期）　決算概要

2 **2027年3月期　通期業績予想**

3 株主への対応・利益還元

4 グループビジョンの進捗

5 サステナビリティの取り組み

6 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

2027年3月期通期 連結業績予想（修正なし）

（単位：百万円）

	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期予想	対前期増減	
売上高	551,865	625,700	73,834	13.4%
営業損益	▲8,766	40,100	48,866	—
経常損益	▲2,807	38,300	41,107	—
親会社株主に帰属する当期純損益	6,499	26,100	19,600	301.6%

【フジテレビ】広告収入の2027年3月通期見込み（修正なし）

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	対前期増減	
ネットタイム	34,366	56,500	22,133	64.4%
ローカルタイム	6,143	7,500	1,356	22.1%
スポット	43,543	66,000	22,456	51.6%
放送収入合計	84,053	130,000	45,946	54.7%

現在、都市開発・観光事業への外部資本導入の検討を進めておりますが、外部資本導入の手法、時期、規模等が未定であることから、業績予想は都市開発・観光事業への外部資本の導入は前提としておりません。
開示すべき重要な事項が発生した場合には、適時適切に開示してまいります。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別業績予想（修正なし）

（単位：百万円）

		事業セグメント			合計	調整額	連結損益計算書計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
売上高	2027年3月期 通期予想	**406,700**	**209,900**	**25,500**	**642,100**	**▲16,400**	**625,700**
	2026年3月期 通期実績	350,889	193,495	26,681	571,065	▲19,200	551,865
	増減率	15.9%	8.5%	▲4.4%	12.4%	—	13.4%
営業利益	2027年3月期 通期予想	**20,000**	**22,400**	**1,000**	**43,400**	**▲3,300**	**40,100**
	2026年3月期 通期実績	▲30,835	25,185	1,424	▲4,225	▲4,540	▲8,766
	増減率	—	▲11.1%	▲29.8%	—	—	—

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

設備投資計画と減価償却費（計画修正あり）

（単位：百万円）

		2027年3月期		2028年3月期
		2Q（実績）	通期（計画）	通期（計画）
設備投資額	連　結	63,083	110,000	100,000
	フジテレビ	1,606	7,500	7,000
	都市開発・観光事業	63,131	101,000	86,000
	フジ・メディアＨＤ	318	1,000	2,500
減価償却費	連　結	9,184	19,000	19,500
	フジテレビ	1,349	3,500	4,000
	都市開発・観光事業	5,053	10,000	10,500
	フジ・メディアＨＤ	945	1,900	2,000

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 コンテンツパイプライン

F1とドラマとの連動、アニメから実写への展開、ラジオ番組起点のイベントなど、コンテンツの多角展開が継続

ジャンル	これまでの実績 【起点となる強みや直近の取り組み】	今後の多面展開 【中長期的な見通しとLTVの最大化】
スポーツ・映像 IP展開	**■ モータースポーツ関連各社がバックアップ『FUJI TV FORMULA ドラマプロジェクト』始動** 1987年以来フジテレビが長年培ってきた「Formula 1®」中継の基盤を活かし、2026年から5年間にわたり日本国内独占放送・配信権を獲得 「FOD」の「F1プレミアムプラン」も好調 	SUPER FORMULAを運営する日本レースプロモーション（JRP）をはじめ、関係各社の強力なバックアップのもと、2027年春放送ドラマ制作プロジェクトが発足。 ドラマを皮切りに、モータースポーツを題材とした映画やドキュメンタリーなど、海外進出も視野に入れた展開を目指す。 
アニメから実写への 多角展開	**■ アニメ放送と実写化の多角展開『ホタルの嫁入り』** 「電子コミック大賞2024」大賞に輝いた大人気漫画『ホタルの嫁入り』デイヴィッドプロダクション制作でアニメ化 10月よりフジテレビ系「ノイタミナ」枠でアニメ放送開始  ©橘オレコ／小学館／アニメ「ホタルの嫁入り」製作委員会	アニメ第一話放送開始直後に、フジテレビ系での2027年「実写化」を発表 これまでに数々のアニメの実写化を手掛けてきたフジテレビのノウハウを活かし、アニメから実写まで、原作の魅力を最大化する
ライブ エンタテインメント	**■ 『オールナイトニッポン』発大型イベントにみる番組連動リアル展開** 1967年にニッポン放送で放送開始した『オールナイトニッポン』では、パーソナリティが登壇する大型イベントを開催 2025年には番組2度目となるイベント「山田裕貴のオールナイトニッポン ドラゴンフェニックス甲子園」を実施しのべ1万人が参加 	2026年10月開催『ナインティナインのオールナイトニッポン歌謡祭』 2027年1月開催『FRUITS ZIPPERのオールナイトニッポンX in 横浜アリーナ』をはじめとする、番組発の大型イベントを今後も定期的に実施 関連グッズも展開し、リスナー接点を増やしLTVを拡大 

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 今後の主なラインアップ

■アニメ放送・配信

時期	社	タイトル・プロジェクト名	
【フジテレビでの放送・配信】			
2026年下期～来期	フジテレビ	2026年10月期　新作アニメラインアップ 「ノイタミナ」『ホタルの嫁入り』 「＋Ultra」『帰還者の魔法は特別です』第2期 「B8station」『百妖譜 第3期京師篇』 『DARK MACHINE THE ANIMATION』　他	多様なアニメ作品の放送・配信を通じた国内外での視聴接点拡大
【フジテレビ以外での放送・配信】			
2026年10月期	ポニーキャニオン	『東京リベンジャーズ　三天戦争編』	MBS・TBS・CBC”アニメイズム”枠ほかにて放送　Disney+で独占配信
		『桃源暗鬼 第二期　～日光・華厳の滝編～』	日本テレビ系「フラアニ」枠で放送　シリーズ展開を強化
		『ロメリア戦記』	TOKYO MXほかにて2クール放送
		『ダイヤのA actⅡ　－Second Season－』	テレビ東京系ほかにて放送
2026年10月期	ビーエスフジ	『てつりょー！meet with 鉄道むすめ』	BSフジ・TOKYO MXほかにて　10月より放送
2026年10月公開	ポニーキャニオン	映画『聲の形』	公開10周年を記念した全国再上映　Dolby Cinema版を新たに制作し放映
2026年下期	デイヴィッドプロダクション	『スティール・ボール・ラン　ジョジョの奇妙な冒険』	Netflixでの世界配信
2026年下期	フジテレビ	『THE ONE PIECE』	原作「東の海編」から新たにアニメ化　Netflix等での世界配信
2027年度以降	フジテレビ	劇場版『ONE PIECE FILM GOD VALLEY』	『ONE PIECE FILM RED』以来5年ぶりとなる劇場最新作 原作連載30周年を迎える2027年夏に全国公開

©尾田栄一郎／集英社・「THE ONE PIECE」製作委員会

©尾田栄一郎／2027「ワンピース」製作委員会



©和久井健・講談社
／アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員会



©漆原侑来（秋田書店）
／桃源暗鬼製作委員会



© ＴＯＭＹＴＥＣ／てつりょー！製作委員会



©大今良時・講談社
／映画聲の形製作委員会



©LUCKY LAND COMMUNICATIONS/
集英社・ジョジョの奇妙な冒険SBR製作委員会

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 今後の主なラインアップ

■実写コンテンツ（映画・ドラマ・配信作品など）

時期	社	タイトル・プロジェクト名	
2023年7月～2027年2月	NEXTEP	配信番組『トロット・ガールズ・ジャパン』プロジェクト	WOWOW・Abema他で放送・配信された日韓共同歌手発掘オーディション 番組・イベント制作等を担当　デビュー歌手が各種興行や番組出演等を展開中 2027年まで製作委員会が継続
2026年6月以降	フジテレビ・共同テレビ	FODオリジナルドラマ『世にも奇妙な物語 FODの特別編』	人気オムニバスドラマ『世にも奇妙な物語』の完全新作オリジナル エピソードを2027年5月まで毎月1本FOD独占で配信 制作は共同テレビ
2026年9月公開	フジテレビ・BSフジ	映画『踊る大捜査線 N.E.W. メトロポリスを駆け抜けろ！』	1997年放送連続ドラマから映画、グッズ、イベントなど多角展開 劇場最新作が大ヒット上映中
2026年9月以降	フジテレビ	FOD SHORTオリジナルドラマ『ミッシングトレイン』	縦型ショートドラマアプリFOD SHORTにて配信中 タイで開催された「コンテントアジア・アワード2026」 マイクロドラマ・シリーズ部門で銀賞を受賞
2026年10月以降	フジテレビ	FODオリジナルドラマ『あなたを殺す旅 Season 2』	FODオリジナル独占配信BLドラマ（コミック原作） Season 1 は海外動画配信プラットフォーム「GagaOOLala」にて 世界244の国と地域で配信中
2026年11月放送	BSフジ	ドラマ『営業ですから』	2026年11月より放送開始　ファンミーティング等興行展開も予定
2026年11月公開	フジテレビ	映画『君の話』	人気小説を実写映画化したラブストーリー
2027年1月公開	フジテレビ	映画『高校生家族』	週刊少年ジャンプの同名漫画を原作とした実写映画
2027年2月公開	フジテレビ	映画『殺人の門』	カンヌ国際映画祭併設マーケット「Goes to Cannes」選出 東野圭吾氏原作ミステリー
2027年3月公開	フジテレビ	映画『マッシュル』	週刊少年ジャンプの同名漫画を原作とした実写映画
2026年度中	共同テレビ	JAXA「イプシロンロケット7号機打上げ中継番組」	JAXAから受注し制作　JAXA公式YouTubeチャンネルにてライブ配信
2027年春	フジテレビ	映画『全領域異常解決室』（2作連続公開）	2024年10月期にフジテレビ系で放送された 連続ドラマ『全領域異常解決室』を映画化
2027年7月放送	フジテレビ	ドラマ『ウォーターボーイズ2027』	2001年に映画、2003～2005年にドラマが放送された人気シリーズの2027年版 オーディションを皮切りに1年にわたって行われる 『WATER BOYSプロジェクト』が始動

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 今後の主なラインアップ

■ライブエンタテインメント

時期	社	タイトル・プロジェクト名	
2026年4月～11月	クオラス	『ゴッホの跳ね橋と印象派の画家たち ヴァルラフ＝リヒャルツ美術館所蔵』展	2026年4月に宇都宮で開幕し、大阪を経て11月まで名古屋で開催中 企画協力ならびにオリジナルグッズ/図録制作を担当
2026年10月～2027年9月	フジテレビ	『シンシナティ美術館展 ～アメリカに渡ったヨーロッパの至宝～』	米国有数のコレクションを誇るシンシナティ美術館の名品を 東京をはじめ全国4か所で紹介する大型美術展
2026年10月	ニッポン放送	『ナインティナインのオールナイトニッポン歌謡祭』	7度目となる『ナインティナインのオールナイトニッポン』発の 大型イベント　関連グッズ等も幅広く販売
2027年1月	ニッポン放送	『FRUITS ZIPPERのオールナイトニッポンX in 横浜アリーナ』	『FRUITS ZIPPERのオールナイトニッポンX（クロス）』発の番組イベント 横浜アリーナにて初開催
2027年1月～2月	ポニーキャニオン	『MANKAI STAGE「A3!」ACT3! ～AUTUMN & WINTER 2027～』	ダウンロード数800万超の役者育成ゲーム『A3!』を原作とする舞台の最新シリーズ
2027年1月～8月	フジパシフィック ミュージック	『リアルピース 全国47都道府県ツアー2027～天下笑一～』	男性5人組 YouTuber アイドル「リアルピース」初の47都道府県ツアー
2027年2月	ニッポン放送	『ニッポン放送 ももいろクローバーZ ももクロくらぶxoxo ～バレンタイン DE NIGHT だぁ～Z！2027「裏」「表」』	『ももいろクローバーZ ももクロくらぶxoxo』発の大型イベント 2013年以来15回目の開催
2027年2月～10月	フジテレビ	シルク・ドゥ・ソレイユ日本公演最新作　『アース製薬 クーザ』	シルク・ドゥ・ソレイユとの30年以上続くパートナーシップに基づく日本公演 東京・大阪で開催　フジテレビイベントを象徴する大型プロジェクト
2027年2月	ポニーキャニオン	『オーイシ横アリ ～オーイシマサヨシ ワンマンライブ at 横浜アリーナ～』	2日間の大型興行　ライブ制作・グッズ制作を担当





©フジテレビジョン
BSフジ　ピー・エー・シー





©仲間りょう／集英社
©2027映画「高校生家族」製作委員会



© 2027「殺人の門」製作委員会



©甲本 一／集英
©2027 映画「マッシュル」製作委員会



Vincent van Gogh, The Drawbridge (detail), 1888,
Wallraf-Richartz-Museum & Fondation Corboud,
Cologne Photo: ©RBA, Cologne









© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業　今後のトピックス

賃貸事業

オフィス・住宅



■**KiGi AKIHABARA**
2026年7月開業
9階建て木造ハイブリッドオフィスビル
令和8年度「木材利用推進コンクール」
林野庁長官賞、「ウッドデザイン賞
2026」を受賞



■**ルフォンプログレ天満橋マークス**
70戸：2026年9月竣工

物流施設



■**SANKEILOGI松戸**
2026年6月着工
2027年8月末竣工予定
ドライ（常温）棟と冷凍冷蔵棟を
配置した2棟構成
敷地面積：15,395㎡（4,657 坪）

販売・売却事業



■**ルフォン蔵前グランスイート**
39戸：2026年7月着工

ホテルリゾート事業

■**（仮称）なんば・千日前「味園ビル」跡地開発計画始動**
サンケイビル、三菱商事都市開発、丸紅都市開発による開発事業
ホテル・商業複合施設の開発に着手
2031年春以降の開業を目指し事業推進

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

AIの活用／DXの推進

AI

■「AIセンター」新設によるAI推進体制の強化
7月の組織改編でデジタル戦略統括室に「AIセンター」を新設し、全社横断の「AI利活用委員会」を発展的解消。推進・責任体制を明確化し、全社にいる社内サポーターとともにコンテンツ制作でのAI活用、業務面のAX推進を担う

■ドラマ制作のAI実践拠点「AI Sandbox」を設置、月9ドラマで活用
湾岸スタジオに生成AIの実験場「AI Sandbox」を設置し、9月より運用開始。月9『救命病棟２４時』等で活用し、従来比、一部の映像制作工程で最大80%削減（特定工程での検証結果）。2027年10月をめどに全ドラマでAIを活用できる体制を整える

■「放送作家プラス1」リリース
地上波コンテンツ制作者を24時間365日支援する専属AIコンサルタントとして開発。本システムは、汎用LLMと視聴率・タレントパワー等のテレビ局由来データと番組固有のデータの組み合わせ、番組・コンテンツの企画、内容、OA構成に対して、より実践的な助言を行うことを目的としている

■「動画生成AIラッパー」の本格導入
PoCを経て2026年9月より本格導入。AI専門家でない制作者でも静止画・動画を容易に作成可能に。FMHや系列局での利用拡大に向けた協議も進めている

■ 全社員向け「AI　Eラーニング」を実施
AI関連のリテラシー向上とAI利活用ポリシー・ガイドラインの周知・浸透を目的に全社員向けAI eラーニングを実施。グループ各社とも運用ルールを共有し、コンテンツ制作サプライチェーン全体でのAI活用を推進

DX

■業務部門のDX/AX推進
デジタル戦略統括室とIP・アニメ事業局が協働し、IP・アニメ事業局全体の業務を対象としたDXプロジェクトを9月から始動。業務フローの可視化と課題整理を進め、他部門への横展開のモデルケースとする。
あわせて、出演契約書作成の自動化や視聴率のAI簡易分析など、定型業務の効率化を推進

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第2四半期（中間期）　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 **株主への対応・利益還元**

4 グループビジョンの進捗

5 サステナビリティの取り組み

6 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

株主・投資家の皆様との対話

■株主・投資家の皆様との対話の考え方

□当社は、企業価値ひいては株主共同の利益を確保し、向上させる観点から、
株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様との対話を重視しております

株主総会、決算説明会、個別面談等を通じていただいた貴重なご意見は、経営方針等に反映し、
改革アクションプランの実践やそのアップデート等を通じて、成果に結びつくように努めております

□株主・投資家の皆様との対話の内容は、随時、経営陣に報告し、取締役会でも共有しています

■2026年4月～9月の株主・投資家との対話

対話状況

□面談社数　　：66社（含むカンファレンス参加時13社）
□面談件数　　：78件（内SR面談の15件は、いずれも代表取締役社長等のマネジメントが出席）
□決算説明会　：2回（2026年3月期通期（5月開催）・2027年3月期第1四半期（8月開催）
□海外IR　　：1回（ロンドン）

対話内容

□直近の業績と今後の見通し、特にフジテレビの放送収入の回復背景と今後の動向
□グループビジョンに基づく今後の成長戦略
□都市開発・観光事業への外部資本導入後のキャピタルアロケーション（成長投資と株主還元等）
□コンプライアンス、ガバナンスの改革の進捗状況、人的資本経営の推進状況　など

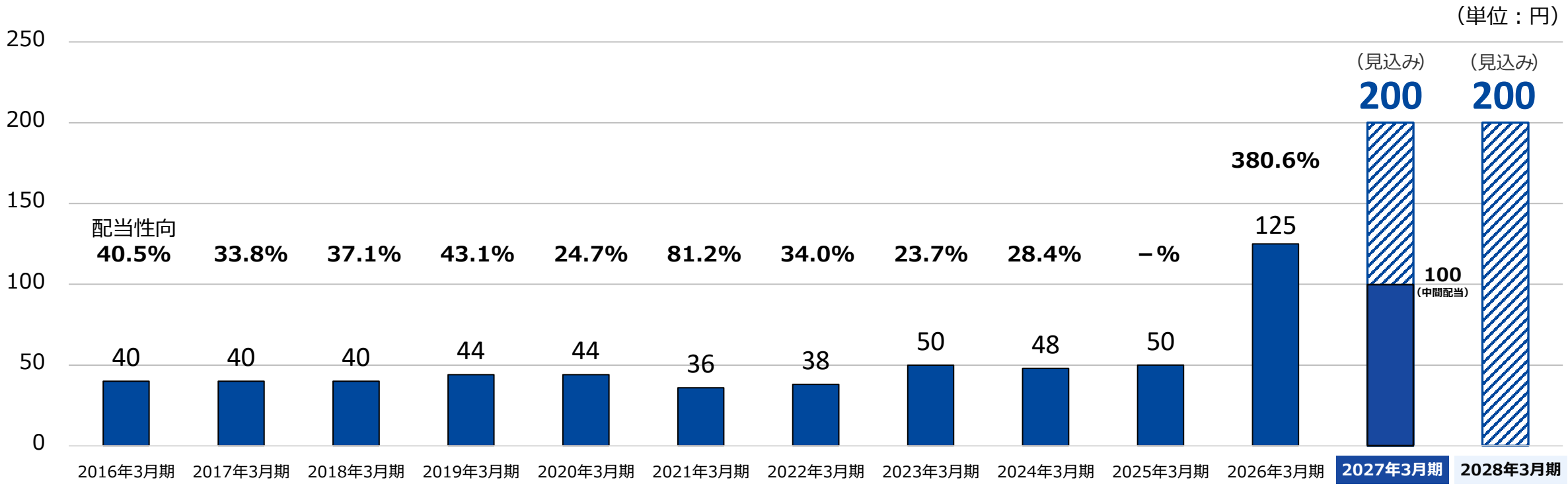
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

資本政策・利益還元：配当

方針

■ **2026年3月期　年間配当125円（うち中間配当金25円）【実績】**
■ **2027年3月期及び2028年3月期　年間配当200円【見込み】**

フジテレビの広告収入が回復する等業績の改善が進んでいること、今後の都市開発・観光事業への外部資本導入などによる財務余力が生じる見込みであること、加えて、ＲＯＥの向上に資すること等を総合的に検討し、自己資本の抑制に資する配当の大幅な拡充が適切であると判断



※2019年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行10周年及び（株）フジテレビジョン開局60周年記念配当4円を含む
2023年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行15周年及び（株）フジテレビジョン開局65周年記念配当10円を含む

※当社は2009年3月期より、放送法の規定により議決権割合20%以上となり株主名簿への記載を拒否する外国人に対しても、配当の支払いを実施

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

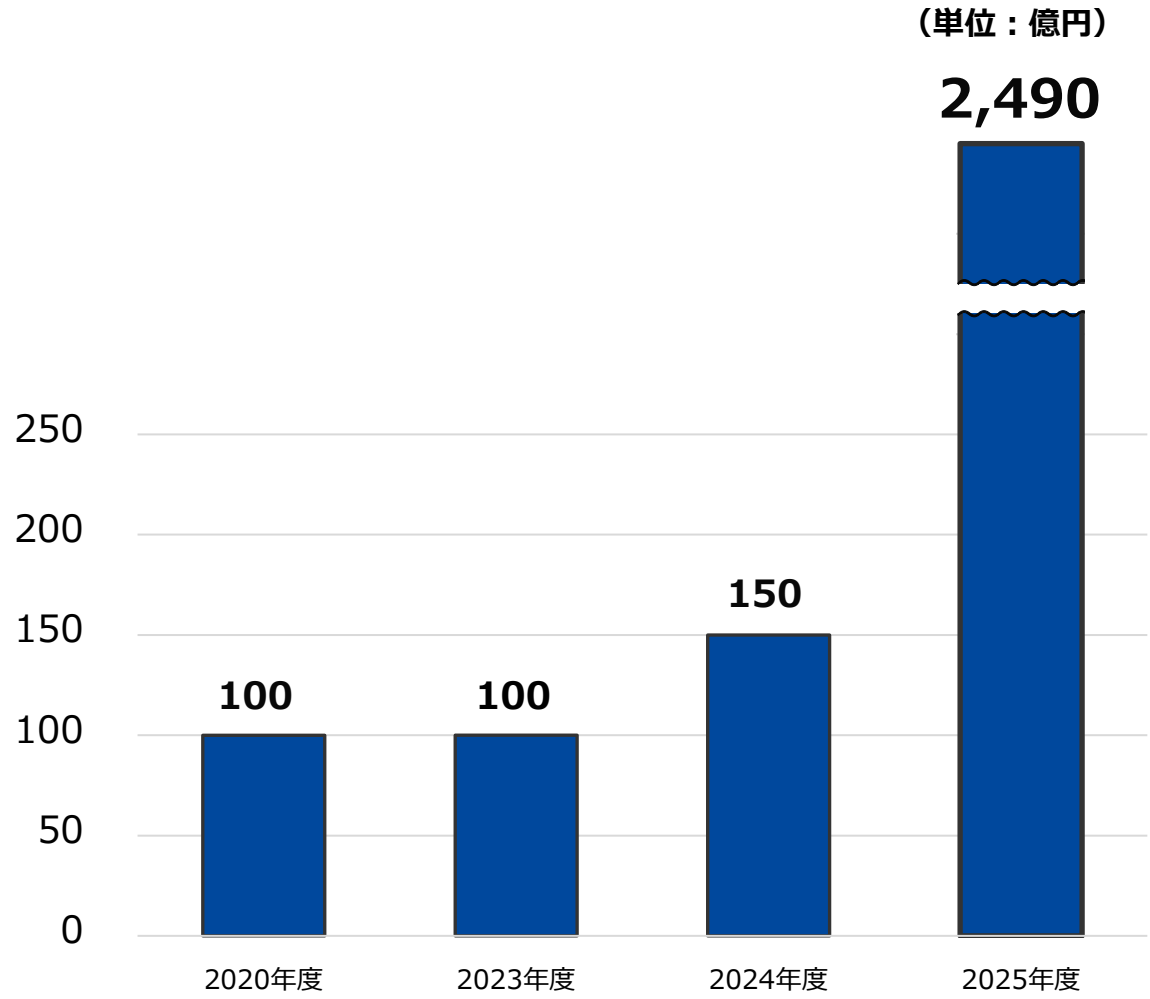
資本政策・利益還元：自己株式取得

■自己株式取得の考え方

機動的な自己株式取得等の資本政策により
資本収益性の向上を図るべく、
自己株式取得の継続的な実施を検討

■実績と今後の方針

・2020年度、2023年度および2024年度で
合計350億円の自己株式取得を実施
・「改革アクションプラン」に基づき、
2025年度に2,490億円の自己株式を取得
・今後も資本効率を最大化させるべく、
成長投資と株主還元のバランスを取りつつ、
自己資本を適切な水準に維持する方針



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第2四半期（中間期）　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

4 **グループビジョンの進捗**

5 サステナビリティの取り組み

6 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フランチャイズ型IP　例「踊る大捜査線」

フランチャイズ型 IP：ドラマ ・アニメから映画 、イベント 、ライセンスビジネス等へと広がる多角展開型 IP

STEP 1 Creation 創り出す

TVドラマを起点に、
魅力的な世界観・キャラクターを創出

STEP 2 Production 形づくる

高い制作力でシリーズ作品を継続的に展開

STEP 3 Delivery 届ける

地上波放送、映画、配信を通じ
幅広い視聴者に展開

STEP 4 Engagement つなげる

イベントなどファンの接点を通じて
熱量を高める

STEP 5 Feedback 還元する

視聴者やファンの反応を
新作など制作で活かす

多角展開でIP価値を最大化

踊る大捜査線 IP

- ドラマ
  - 
  - 1997年
    連続ドラマ
    放送開始
- 映画
  - 
  - 映画シリーズ9作品
    累計興行収入
    （最新作除く8作品）
    524.1億円
  - ©フジテレビジョン　BSフジ　ビー・エー・シー
- 派生作品
  - 
  - 上記9作品のうち
    スピンオフ映画　4作品
  - ©2024　フジテレビジョン　ビーエスフジ　東宝
- 配信
  - FOD
  - FOD、Netflix、Amazon
    プライム、
    U-NEXT、DMMなど
    各種配信サービスで旧作
    配信中
- イベント
  - 
  - 「踊る大捜査線
    THE MUSEUM」、
    お台場・銀座三越で開催
    大阪・北海道でも
    巡回開催予定
- グッズ
  - 
  - コラボ商品、限定商品
    映画公式グッズなど販売

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

「めざましテレビ」ブランドの有効活用

■高視聴率を社内連携で高放送収入に



・**「コアターゲット」に好評**
購買意欲の高い13歳～49歳の視聴率が好調
高単価でのタイム収入や、スポットのシェア拡大に貢献

・**26年4月改編で放送枠を拡大、改編前比視聴率向上**
放送時間を9時まで拡大。8時台の視聴率は、
2025年4月～10月　個人2.3%、コア1.6%
2026年4月～10月　個人2.6%、コア2.0%　と大きく改善

・**スタジオと報道・投資戦略・マーケ・営業などの好連携で番組強化**
報道と取材で密に連携。投資戦略・マーケティング・営業と
KPIを設定しPDCAを回すことで、高い視聴率と高い収入を両立

■IP育成

・**帯番組であることと、視聴者構成を活かしたIPを展開**
月曜日から金曜日まで毎日放送していることや
コアターゲットに強い視聴者構成を活かし
「ちいかわ」や「パペットスンスン」などの
ショートムービーを放送
コンテンツのMD、海外展開、映画化などの後押しに貢献



©ナガノ / ちいかわ製作委員会



©PUPPET SUNSUN/PS committee

・**「きょうのわんこ」など番組発IPを生かした展開**
リアルイベントからファンコミュニティを形成する
新プロジェクトをスタート



■他の番組への展開

・**バラエティと連携した新番組『STAR』開始**
2026年4月改編より、毎週木曜日19時から放送
「めざまし」で取り上げるアーティストが出演し
さまざまな楽曲やトークを披露するとともに
合間に「めざまし」からの旬な情報を紹介し連動



・**イベント「STAR」フェス開催（10月10日・11日）**
番組を飛び出し、今の音楽シーンを彩るアーティストが集結
ライブパフォーマンスに加え、番組連動企画などを展開

■イベントから配信までの多角展開

・**イベント「めざましWANGANフェス」開催（８月）**
めざましと「新しいカギ」や「STAR」などの番組がコラボ。
今の音楽シーンを彩るアーティストが集結し
ライブパフォーマンスに加え、番組連動企画などを
展開

・**フジテレビ発のオウンドメディア『めざましmedia』**
流行のエンタメや最新トレンドを発信する
WEBニュースメディア『めざましmedia』も展開。
YouTubeも含めて放送内容を有効活用



めざましメディア

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

放送・配信・イベントを通じたIPの価値向上

『救命病棟24時』

第1シリーズ
1999年



第2シリーズ
2001年



第3シリーズ
2005年



第4シリーズ
2009年



第5シリーズ
2013年



新シリーズ
2026年10月期　月曜21時



FODでの継続的な配信に加え、新シリーズとなるシーズン6の放送に先駆け、Disney＋でシーズン1～5を一挙配信
歴代シリーズの魅力を再発信することで、既存ファンの期待感を高めるとともに、新たな視聴者層の獲得を図る
放送と配信の連動により、長年愛されてきたIPの価値を高めていく

『波うららかに、めおと日和』

シーズン1
2025年



シーズン2
2026年10月期　木曜22時



昭和12年、初々しい夫婦の恋物語が再び動き出す
2025年に人気を博した『波うららかに、めおと日和』が、
2026年10月期に続編を放送

『北の国から』

初回放送
1981年



開催日程
2026年11月26日(木) ～28日(土)

北の国から
ドラマチックコンサート
～懐かしい映像と音楽を貴重な制作秘話とともに～

放送開始から45年、世代を超えて愛され続ける『北の国から』
2026年7月には、ドラマの名場面と名曲をオーケストラの生演奏で
届けるコンサートを開催。好評を受け、11月には第2弾公演を予定
映像IPを音楽・イベントへと多角展開し新たな価値創出を図る

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

人的資本経営：働きやすいからこそ、IP開発や多角展開が可能に

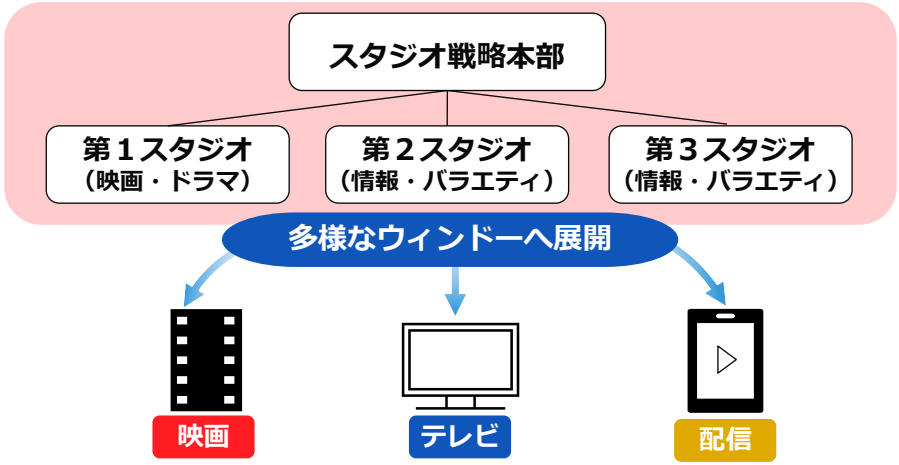
IPバリューチェーンを一気通貫で推進できる「人材資本」を、競争力の源泉として位置づけ
重点領域の中核人材の獲得や育成のために、2030年度までに150億円を投資予定

クリエイターの意識をより解き放ち、臆せず挑戦できるようにする



石原隆
フジテレビ代表取締役
チーフ・コンテンツ・オフィサー

『コンテンツスタジオ』のフジテレビは世界中のさまざまなウインドーに向け優れたコンテンツを作っていくため2025年７月に組織を改編
「スタジオ戦略本部」を立ち上げ地上波放送向けはもちろん違うウインドーへもコンテンツを柔軟に制作できるようにした



『めざましテレビ』の制作と子育ては両立できる



桑原千鶴
フジテレビスタジオ戦略本部
第２スタジオ制作センター
プロデューサー

３度の育休を経て、現場にいる。「子育てしながら最前線に戻るのは無理」と考えた時期もあったが、今は考えが変わった。仕事と育児の両立に悩む後輩には**「現場を離れる不安はあるだろうが、寄り添い、優しく受け入れてくれる環境がある。やりたいことを諦めないでほしい」**と伝えている。

男性社員の育児休業取得率

2024年度		2025年度
64%	→	77%

+13ポイント

特に若手男性社員の取得が増加

多彩な人材の活躍で、今までにない企画の実現へ



三竿玲子
フジテレビスタジオ戦略本部
第1スタジオ
ドラマ・映画制作センター
チーフプロデューサー

現場には若手や中途、グループ会社社員ら、多彩な人材が集い、今までにない企画が生まれる土壌が育まれている。
2026年10月期に放送中の『KiDnap GAME』はアジア７都市を舞台に、香港と韓国のスタジオを連携して制作している。これもさまざまな人材が活躍してこそ、実現できたものだ。

多様な業界からのキャリア採用

幅広い業界から多様な人材が入社



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第2四半期（中間期）　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

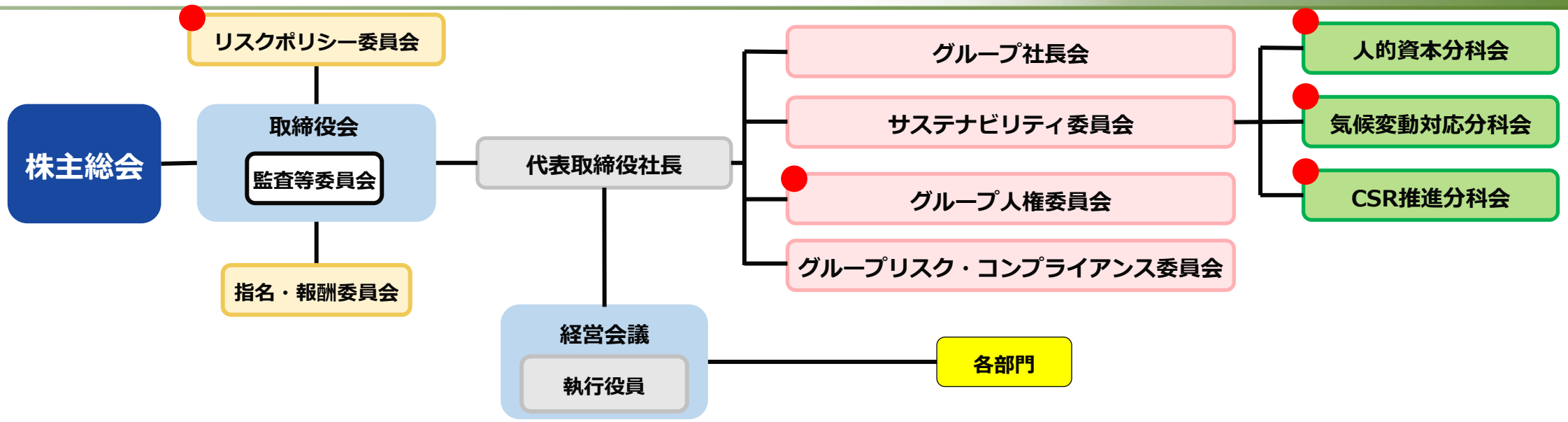
4 グループビジョンの進捗

5 **サステナビリティの取り組み**

6 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

FMH　サステナビリティ・コンプライアンスの取り組み



リスクポリシー委員会開催

花田さおり氏を委員長に選任し、リスクレジスターの運用状況を確認
通報窓口の信頼性向上、人権・ハラスメント研修の充実、サイバー攻撃への対応強化について議論を行い、各施策の改善・実効性向上につなげる
特にサイバー攻撃への対応では、侵入防止策に加え、発生時の被害抑止や迅速な復旧・対応を見据えた実践的な体制の強化に取り組んでいる

グループ人権委員会開催

「ビジネスと人権」行動計画の共有、
通報窓口の運用課題の確認、新任社長との対話を実施
人権課題を経営課題として捉え、通報しやすい企業風土づくりの重要性を確認
「通報は会社を守る行為」として増えることを歓迎する企業風土を築くことや「通報者の詮索を許さない」ことをトップのメッセージとして明確に発信する方針を共有
通報者が安心して声を上げられる環境づくりを進めている

サステナビリティ推進体制の刷新と実効性強化

経営と一体でサステナビリティ課題に取り組むため、推進体制を刷新
人的資本、気候変動対応、CSR推進の3分科会を設置し、グループ横断で、課題共有と施策検討を進めることで、取り組みの実効性向上を図る

詳細については、同日開示のサステナビリティ関連開示資料をご覧ください。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ　人権ロードマップに基づく主な取り組み（7月以降）

A. 人権尊重の企業方針・経営システムへの組み込み

A-① 人権方針の担当部署への浸透の取り組み強化
A-② サステナビリティ経営委員会及び人権PJ等の各分科会等を通じた部署横断的な取り組みの継続
A-③ 対話等から得られた意見や救済事案の対応実績を基にしたガバナンス・各種ルールに関する見直し
A-④ サステナビリティ行動規範の内容についてバリューチェーン上のビジネスパートナーへの周知拡大
A-⑥ 人権への取り組みに関する全社浸透策（研修、対話等）の継続

A-①

・制作現場と法務統括局・コンプライアンス推進局で「アクティブバイスタンダー研修」を実施
・テックアートデザイン局でハラスメント研修を実施（撮影・中継の現場を想定）
・サステナビリティ経営担当部署と報道局が職場環境向上に向けて対話
・アナウンス局が「大雨時の命を守る呼びかけについて」の勉強会を開催

A-②

・サステナビリティ経営委員会
・コンテンツ戦略を担う3局による全体会議を実施

A-③

・就活ハラスメント防止ガイドライン制定
・エンゲージメントサーベイの運用をリニューアル、今後3か月ごとに実施
・報道局が「豪雨災害取材マニュアル」と「災害取材セット」の運用を開始

A-④

・博報堂DYホールディングスとフジテレビのサステナビリティ担当者が対話を実施
・GCNJ（国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン）加盟企業との対話を実施

A-⑥

・eラーニング「AIリテラシー基礎2026」全社員・スタッフ研修 を実施
・制作現場と法務統括局・コンプライアンス推進局で「アクティブバイスタンダー研修」を実施
・テックアートデザイン局でハラスメント研修を実施（撮影・中継の現場を想定）
・サステナビリティ経営担当部署と報道局が職場環境向上に向けて対話
・報道局が「豪雨災害取材マニュアル」と「災害取材セット」の運用を開始
・アナウンス局が「大雨時の命を守る呼びかけについて」の勉強会を開催

B. 人権リスクの特定・評価と対処、モニタリング、開示

B-① 対話に基づく人権リスク特定/評価/対処/モニタリング/開示/リスクマップ見直し
B-② 制作・コンテンツガイドラインの人権観点からのアップデート等

B-①

・HRM（ヒューマン・リソース・マネージャー）が研修を終了、1on1面談など本格始動へ

C. 救済メカニズムの改善

C-① 国連指導原則に基づく対話を踏まえた救済窓口の実効性の継続的な検証
C-② 組織的な改善点の継続分析

C-①

・国連指導原則の8要件のうち「透明性」の観点から、コンプライアンス相談窓口規程を改定し、詳細調査に時間を要する場合には、相談者に進捗状況等を伝える旨を追加。

・GCNJ（国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン）加盟企業との対話を実施

詳細については、同日開示のサステナビリティ関連開示資料をご覧ください。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

FMH　ガバナンスの取り組み

FMH

【ガバナンス】

■取締役会の状況

・**社外取締役が半数、女性比率50%、成長戦略に合わせコンテンツ領域の人材等を新規選任**
取締役会は、8回開催（2026年4月～9月）
・取締役会事務局を7月に設置。オフサイトミーティングや事前説明を含め、取締役による議論を機動的に行える環境を整備

■取締役会での議論の主なテーマ

・「改革アクションプラン」の振り返りと、それを踏まえた「グループビジョン」の策定
・当社グループの事業領域に関する検討、「グループビジョン」に基づく成長戦略
・都市開発・観光事業への外部資本導入
・「取締役会の実効性についての分析・評価」および改訂コーポレートガバナンス・コードを踏まえた取締役会のあるべき姿
・株主・投資家との対話状況と対応方針
・社外取締役からは、各自の専門性を踏まえた具体的な提言をいただく

■執行への反映

・成長戦略の検討や実行体制の整備、成長投資の計画立案等の推進に反映

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第2四半期（中間期）　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

4 グループビジョンの進捗

5 サステナビリティの取り組み

6 **参考資料**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

財務業績推移

（金額単位：百万円）※1株当たり年間配当は円

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	525,087	535,641	566,443	550,761	551,865
営業損益	33,338	31,401	33,519	18,293	▲8,766
親会社株主に帰属する当期純損益	24,879	46,855	37,082	▲20,134	6,499
売上高当期純損益率	4.7%	8.7%	6.5%	▲3.7%	1.2%
有利子負債	272,148	276,900	324,760	354,363	618,487
純資産	808,788	848,769	869,628	830,023	561,467
投下資本（有利子負債＋純資産）	1,080,937	1,125,670	1,194,389	1,184,387	1,179,955
総資産	1,335,991	1,382,646	1,448,833	1,440,296	1,464,728
政策保有株式（FMH）	236,808	227,445	216,356	220,727	182,235
対投下資本割合	21.91%	20.21%	18.11%	18.64%	15.44%
対純資産割合	29.28%	26.80%	24.88%	26.59%	32.46%
自己資本比率	59.7%	60.6%	59.2%	56.8%	37.3%
ROA	1.9%	3.4%	2.6%	▲ 1.4%	0.4%
ROE	3.2%	5.7%	4.4%	▲ 2.4%	1.0%
PER	10.5	5.7	11.7	—	121.6
PBR	0.33	0.32	0.50	0.65	1.04
1株あたり年間配当（円）	38	50	48	50	125
自己株式取得額 ※1	—	10,000	15,000	249,045	—
総還元性向 ※2	34.42%	45.39%	68.99%	—	304.6%

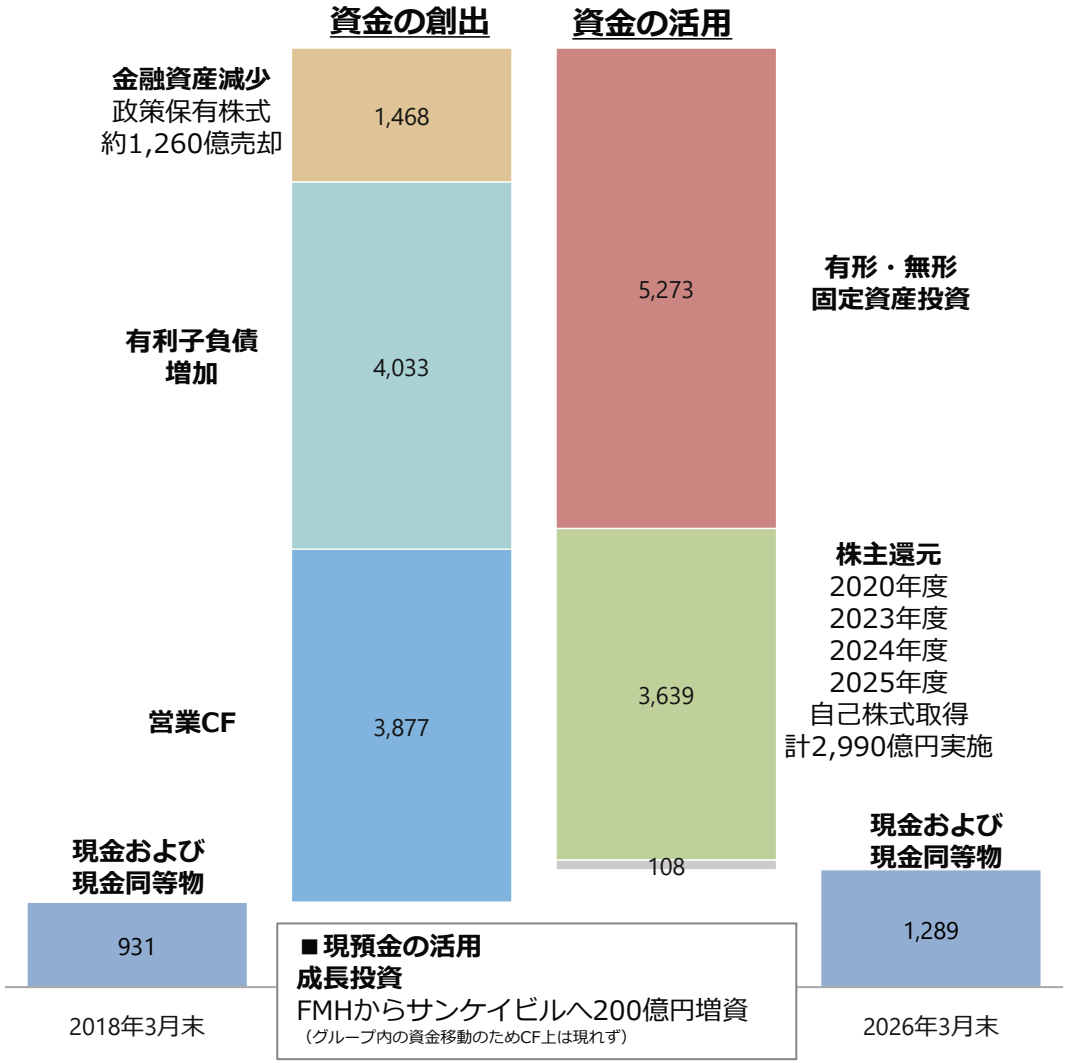
※1　自己株式取得時期　2024年3月期:　100億円
2025年3月期:　150億円
2026年3月期: 2,490億円

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

※2　n年度の総還元性向（%）＝（n年度の年間配当総額）＋（n+1年度の自己株式取得額）／（n年度の親会社株主に帰属する当期純利益）×100

資金の活用状況と設備投資実績

■直近8年の資金の活用状況



■設備投資実績

（単位：億円）

	メディア・コンテンツ		都市開発		その他	
2019年3月期	本社ビル土地（底地）取得 放送機材の取得 スタジオ設備・ 物流関連設備の改修・更新	242	オフィスビル、ホテル及び シニア施設開発用地の取得	464	事務用機器などの リース資産の取得	6
2020年3月期	放送機材の取得 スタジオ設備の更新 中継車等のリース資産の取得	132	ホテル、オフィスビル及び シニア施設の取得	247	事務用機器などの リース資産の取得	5
2021年3月期	編集用設備の更新 放送機材の取得 スタジオ設備の更新	60	オフィスビル建設、賃貸物件 及びホテルの開発用地取得	359	事務用機器などの リース資産の取得	2
2022年3月期	スタジオ設備・ 放送用回線設備の更新 放送機材の取得	55	オフィスビル建設や 賃貸物件開発用地の取得	320	事務用機器などの リース資産の取得	2
2023年3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	57	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得	450	事務用機器などの リース資産の取得	5
2024年3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	68	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得	914	事務用機器などの リース資産の取得	3
2025年3月期	本社ビルの改修・更新 スタジオ設備の更新 放送機材の取得	85	オフィスビルや賃貸物件の 開発用地等の取得 海洋レジャー施設の設備投資	521	事務用機器などの リース資産の取得	10
2026年3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	52	オフィスビルや賃貸物件の 開発用地等の取得 海洋レジャー施設の設備投資	990	事務用機器などの リース資産の取得	3
合計		754		4,267		40

*有価証券報告書の「設備投資等の概要」等から引用した数値であり、
キャッシュフロー計算書上の有形・無形固定資産投資の数字とは異なる

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 資産等

（単位：百万円）

		事業セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
営業損益	2026年度2Q累計	12,646	9,480	474	22,600	▲1,595	21,005
	2025年度2Q累計	▲29,271	18,066	644	▲10,560	▲2,429	▲12,990
	増　減	41,917	▲8,586	▲169	33,161	834	33,995
	増減（%）	—	▲47.5%	▲26.4%	—	—	—
資産	2026年度2Q末	460,438	735,655	25,710	1,221,805	292,201	1,514,006
	2025年度2Q末	440,249	645,770	24,415	1,110,435	331,049	1,441,485
	増　減	20,189	89,884	1,295	111,369	▲38,848	72,521
	増減（%）	4.6%	13.9%	5.3%	10.0%	—	5.0%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント情報（連結子会社）

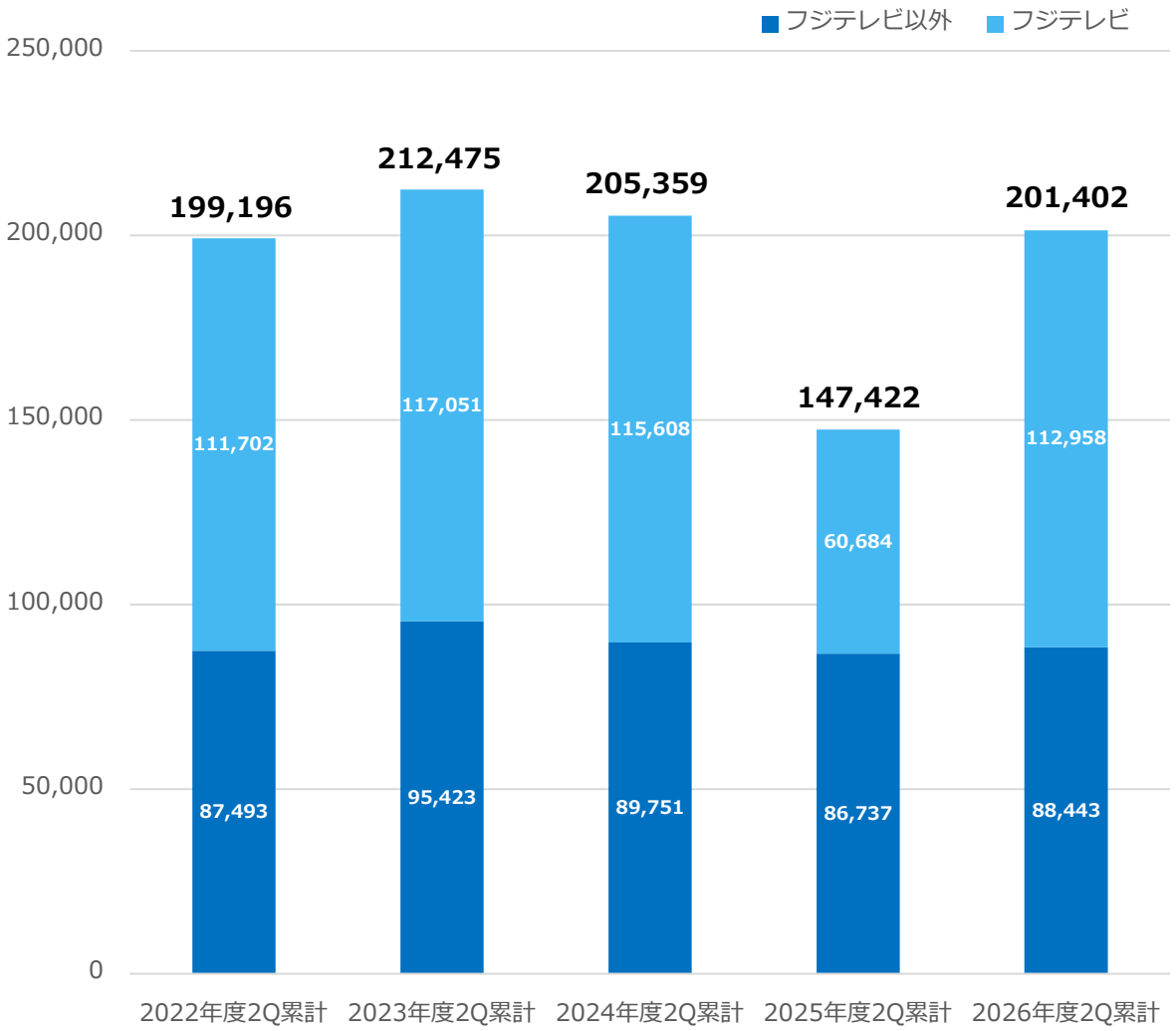
セグメント	会　社　名	会社数
メディア・コンテンツ	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送、 フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、ポニーキャニオン、 フジパシフィックミュージック、dinos、クオラス、扶桑社、NEXTEP、 フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、共同エディット、バスク、バンエイト、 ベイシス、フジ・ミュージックパートナーズ、 シンコーミュージック・パブリッシャーズ、グレイプ、フジ・コンシューマ・プロダクツ、 FUJI MUSIC GROUP, INC.、ARC/CONRAD MUSIC LLC	24社
都市開発・観光	サンケイビル、グランビスタ ホテル＆リゾート、 サンケイビルマネジメント、サンケイビルテクノ、サンケイビルウェルケア、 サンケイ会館、サンケイビル・アセットマネジメント、伸和サービス、 AGホテルマネジメント、 SKB USA LLC、Sankei Investor 1201,LLC、Sankei Investor 1090,LLC、 Sankei Investor 294, LLC	13社
その他	フジ・ネクステラ・ラボ、ニッポン放送プロジェクト、フジキャリアデザイン、 FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL, INC.	4社
合計		41社

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 業績推移

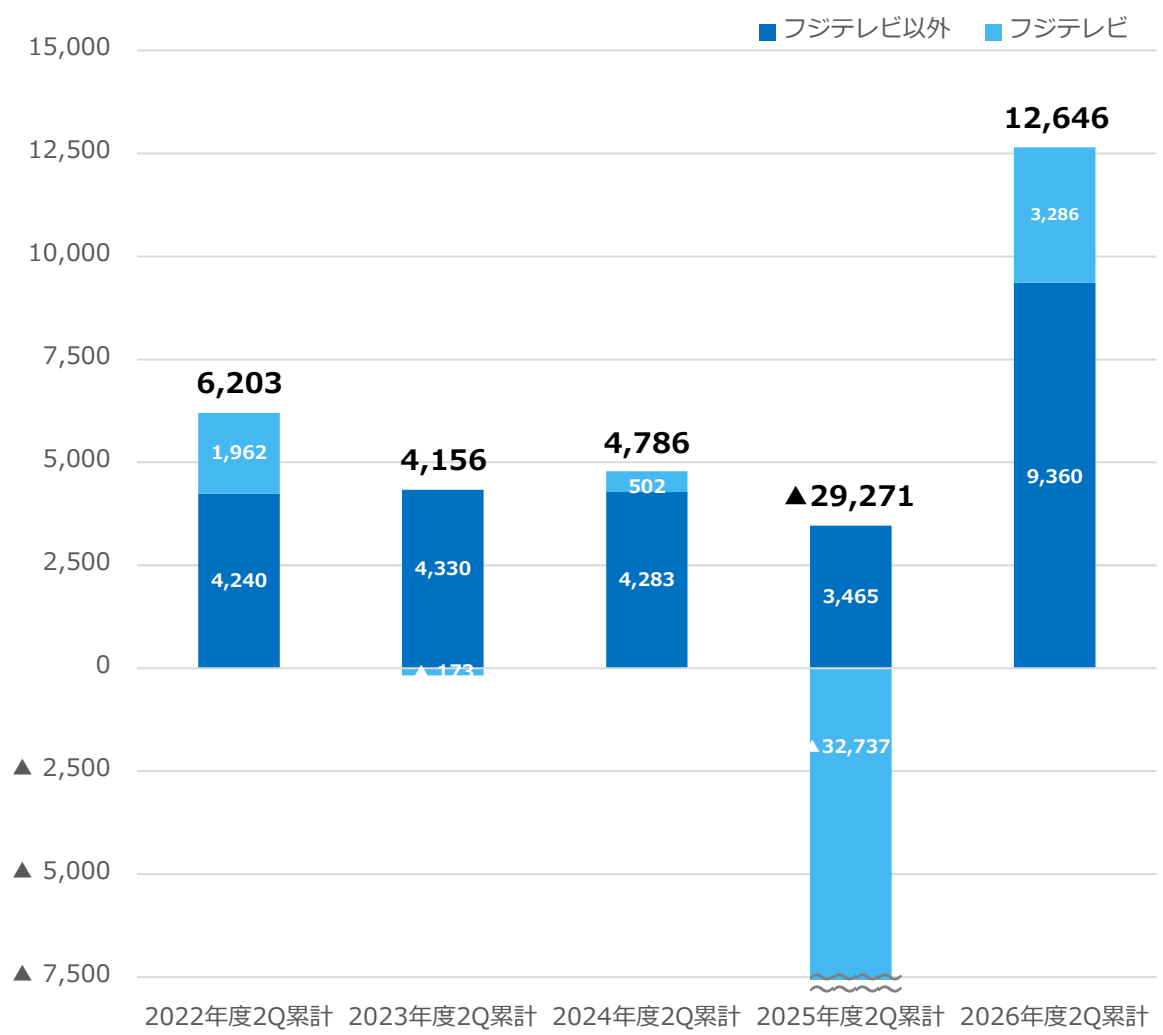
（単位：百万円）

売上高



※フジテレビ以外はセグメント売上とフジテレビ売上の差額。セグメント内調整を含む

営業損益

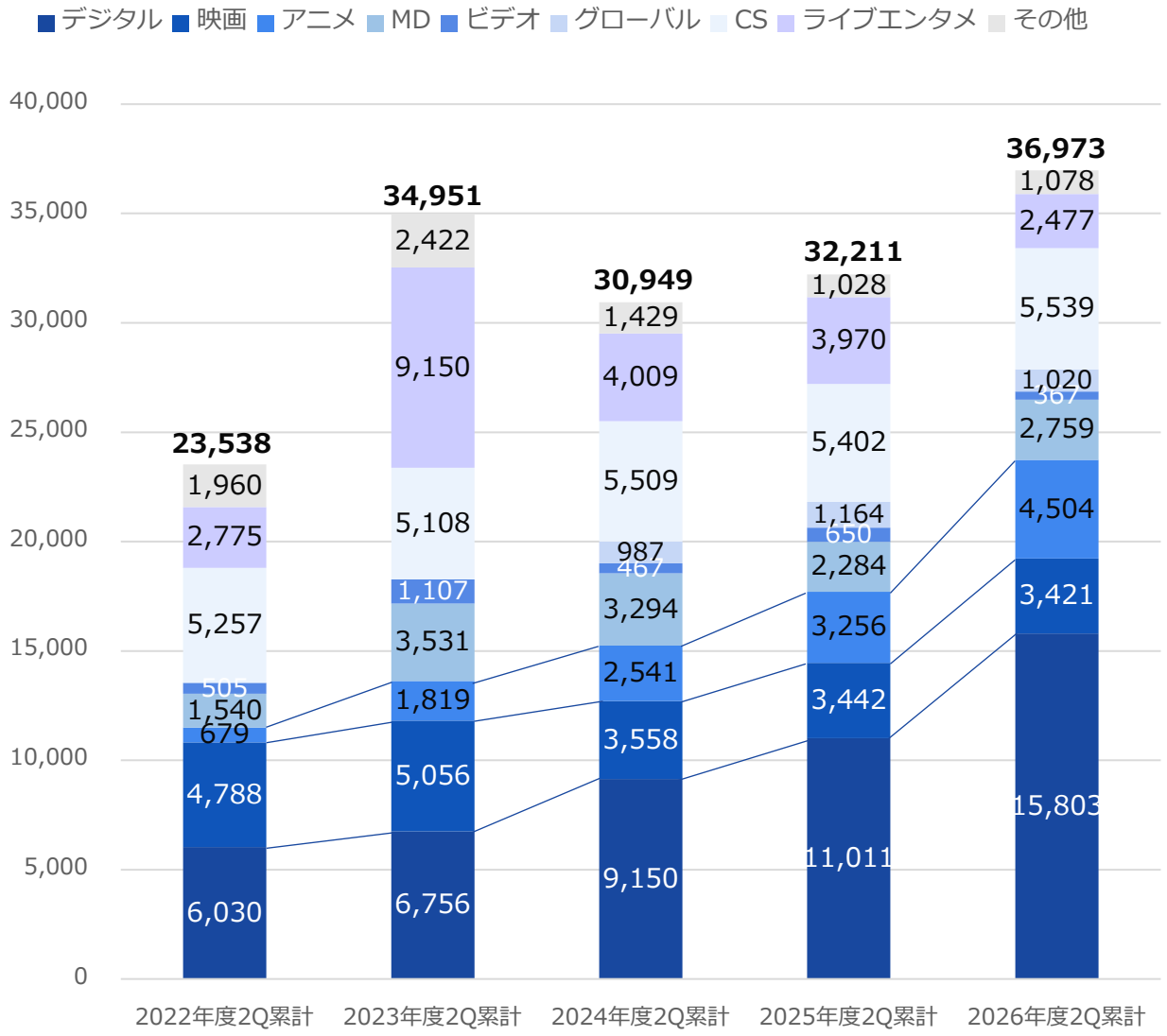


※フジテレビ以外はセグメント利益とフジテレビ営業利益の差額。セグメント内調整を含む

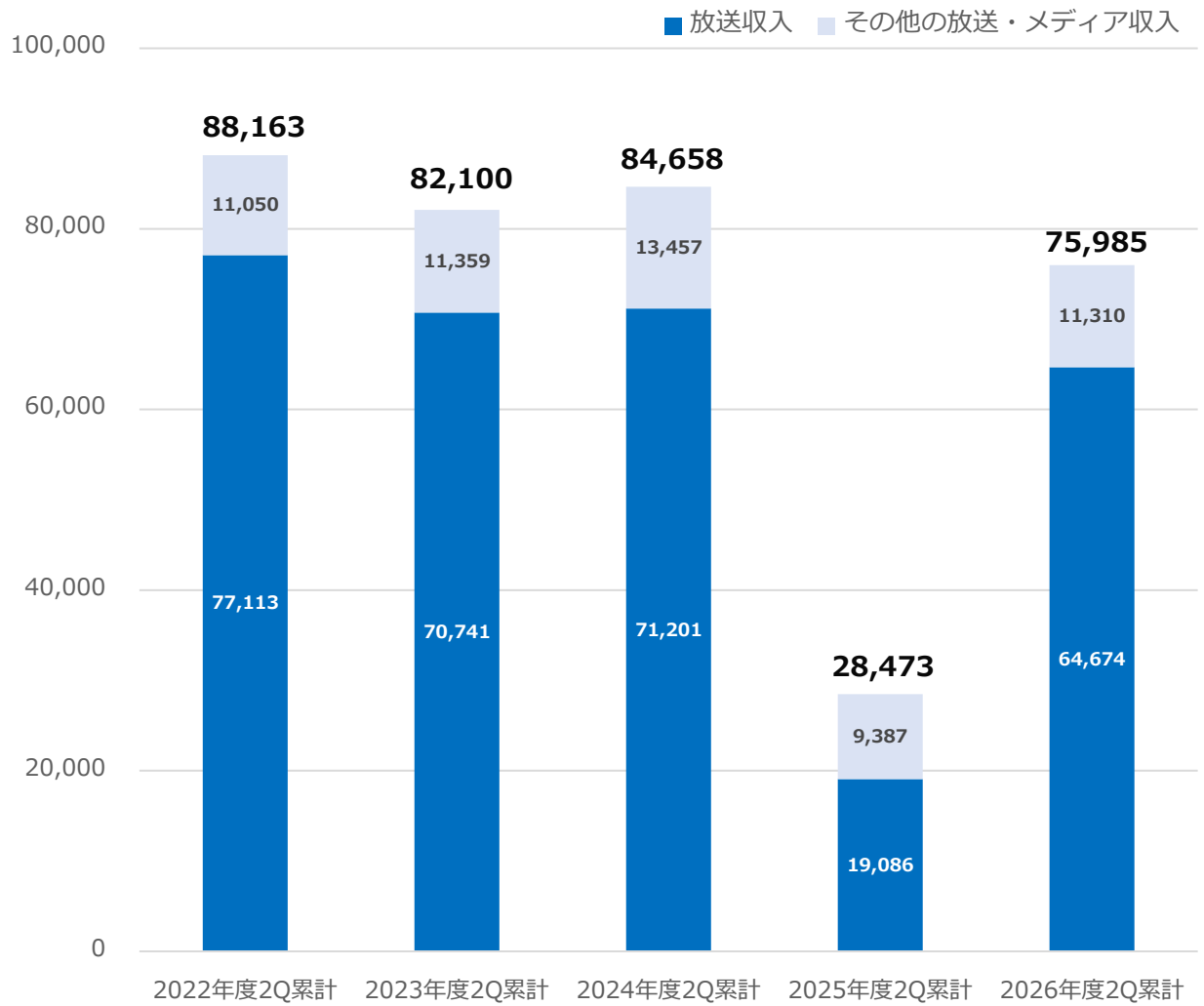
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 業績推移

■コンテンツ・ビジネス収入の売上内訳推移（単位：百万円）



■放送・メディア収入の売上内訳推移（単位：百万円）



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 放送・メディア　推移

■広告収入

（単位：百万円・%）

	2025年度					2026年度					対前期比増減					対前期比				
	タイム	内訳		スポット	合計	タイム	内訳		スポット	合計	タイム	内訳		スポット	合計	タイム	内訳		スポット	合計
		ネット	ローカル				ネット	ローカル				ネット	ローカル				ネット	ローカル		
1Q	3,558	2,740	818	2,409	5,968	16,735	14,962	1,773	17,541	34,276	+13,177	+12,222	+955	+15,131	+28,308	470.3%	545.9%	216.7%	728.0%	574.3%
2Q	6,585	5,195	1,390	6,532	13,118	16,835	15,192	1,642	13,562	30,397	+10,249	+9,997	+252	+7,029	+17,279	255.6%	292.4%	118.1%	207.6%	231.7%
上期	10,144	7,935	2,208	8,941	19,086	33,571	30,155	3,415	31,103	64,674	+23,426	+22,219	+1,207	+22,161	+45,587	330.9%	380.0%	154.7%	347.8%	338.8%
3Q	15,032	12,965	2,066	16,100	31,133															
4Q	15,332	13,464	1,867	18,500	33,833															
下期	30,365	26,430	3,934	34,601	64,966															
通期	40,509	34,366	6,143	43,543	84,053															

■視聴率

＊ビデオリサーチ調べ　・関東地区：ゴールデン：19時~22時　・プライム：19時~23時　・全日：6時~24時　・個人、個人全体：4歳以上　・コア、コアターゲット：13歳~49歳

（単位：%）

2Q (2026/6/29~ 2026/9/27)	ゴールデン		プライム		全日	
	個人	コア	個人	コア	個人	コア
フジテレビ	3.2	2.4	3.0	2.3	2.0	1.4
日本テレビ	4.9	3.7	4.6	3.5	3.3	2.1
テレビ朝日	4.9	1.8	5.0	1.9	3.3	1.0
TBSテレビ	4.6	3.4	4.4	3.3	2.7	1.5
テレビ東京	2.8	1.1	2.4	1.0	1.1	0.4
PUT	29.6	15.2	27.5	14.4	18.2	8.0

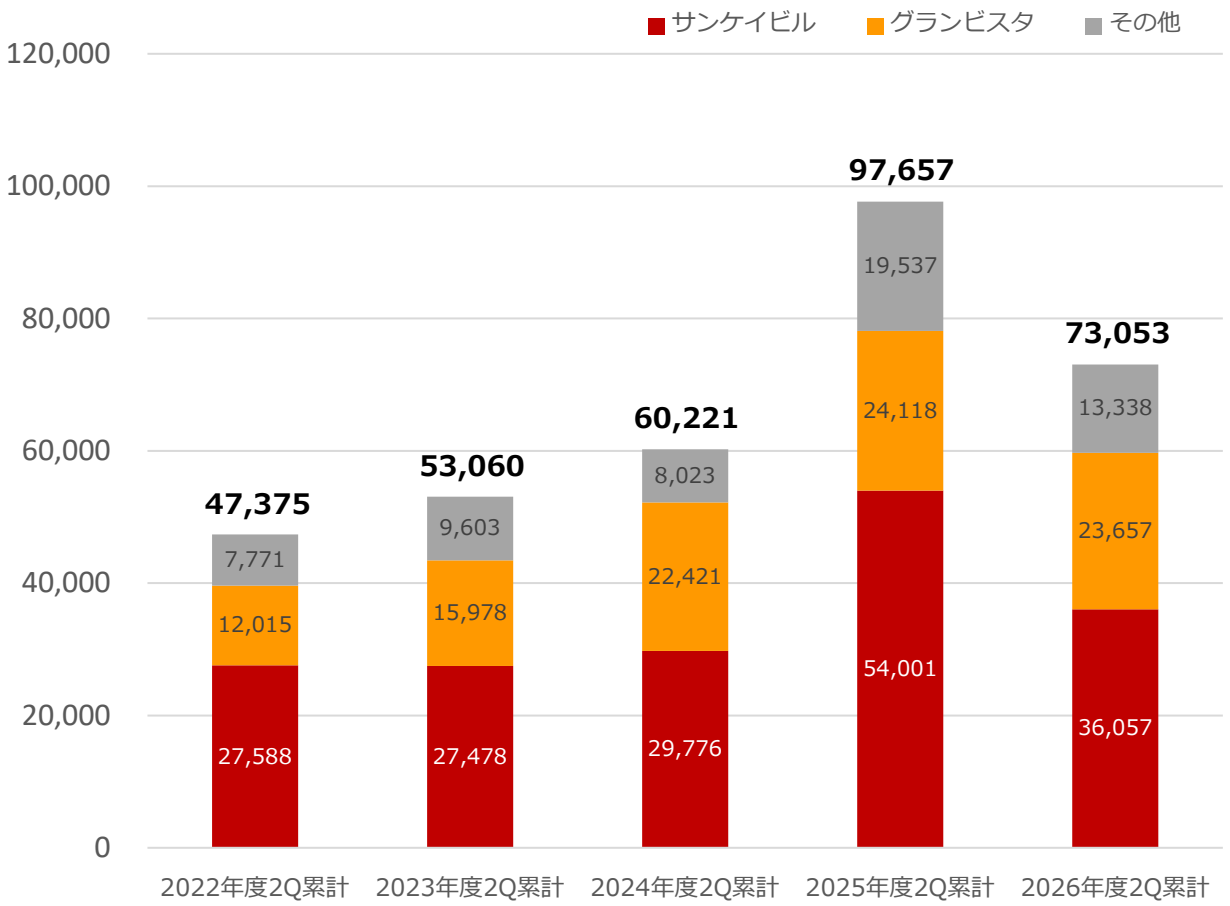
上期 (2026/3/30~ 2026/9/27)	ゴールデン		プライム		全日	
	個人	コア	個人	コア	個人	コア
フジテレビ	3.0	2.3	2.9	2.2	2.0	1.4
日本テレビ	5.0	3.7	4.6	3.5	3.3	2.1
テレビ朝日	5.0	1.7	5.1	1.9	3.3	1.0
TBSテレビ	4.3	3.2	4.2	3.1	2.6	1.4
テレビ東京	2.8	1.1	2.4	1.0	1.1	0.4
PUT	29.3	14.7	27.3	13.9	17.9	7.8

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業 業績推移

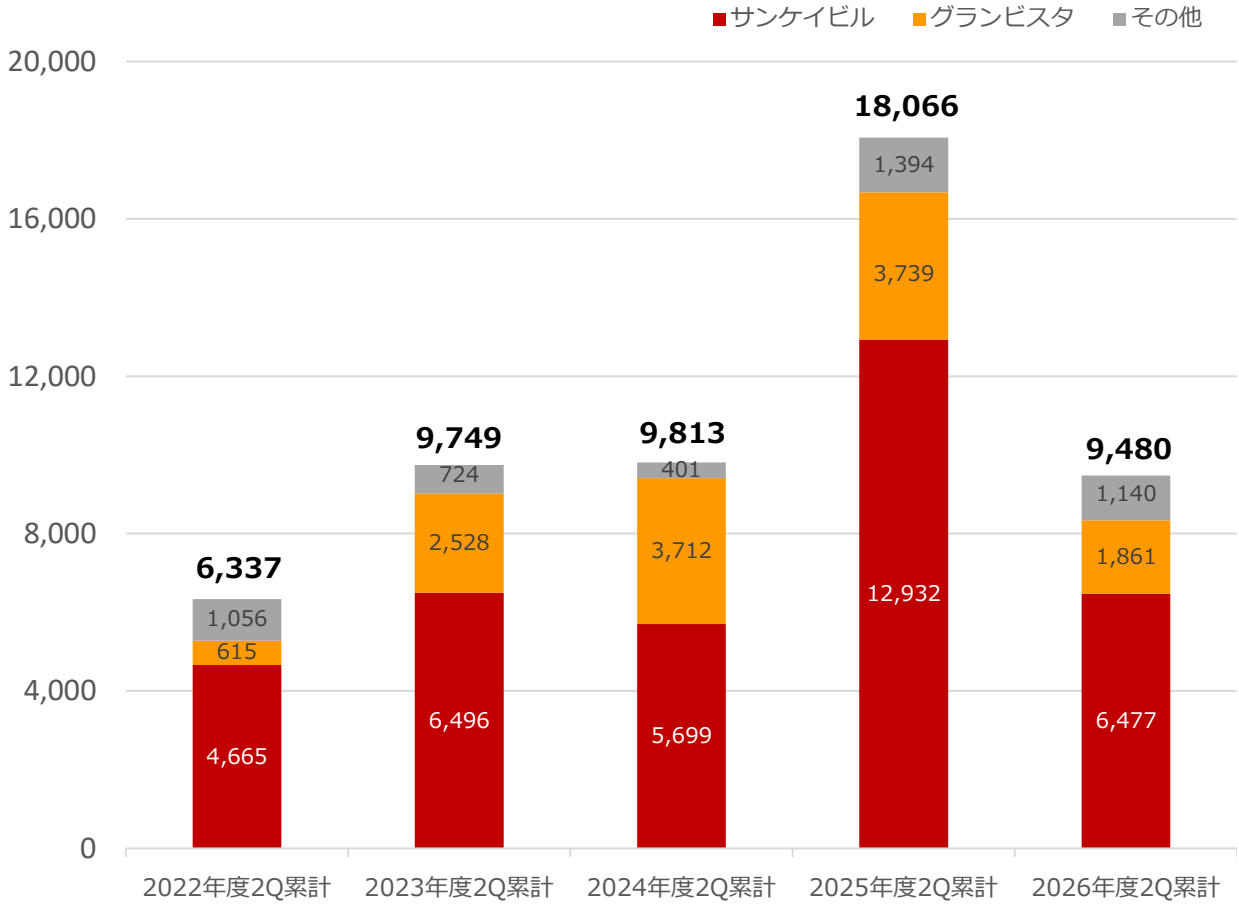
（単位：百万円）

売上高



※その他はセグメント売上とサンケイビルおよびグランビスタ売上との差額。セグメント内調整を含む

営業利益



※その他はセグメント利益とサンケイビルおよびグランビスタ営業利益との差額。セグメント内調整を含む

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

サンケイビルグループ連結の主要事業業績（FMHとは連結対象が異なります）

■売上高

（単位：百万円）

	2025年度					2026年度					前期比
	賃貸事業	販売・売却事業	ﾎﾃﾙﾘｿﾞｰﾄ事業	その他修正等	合計	賃貸事業	販売・売却事業	ﾎﾃﾙﾘｿﾞｰﾄ事業	その他修正等	合計	合計
第１四半期	7,130	19,896	11,836	8,847	47,709	**6,940**	**21,473**	**11,741**	**5,891**	**46,046**	▲1,663
第２四半期	6,061	20,919	15,230	8,928	51,139	**7,083**	**593**	**15,169**	**5,986**	**28,832**	▲22,307
上期	13,191	40,815	27,066	17,775	98,849	**14,023**	**22,066**	**26,911**	**11,877**	**74,878**	▲23,970
第３四半期	7,224	13,737	12,254	7,798	41,014						
第４四半期	7,038	31,345	10,932	6,999	56,317						
下期	14,262	45,082	23,187	14,798	97,331						
通期	27,454	85,898	50,253	32,574	196,180						

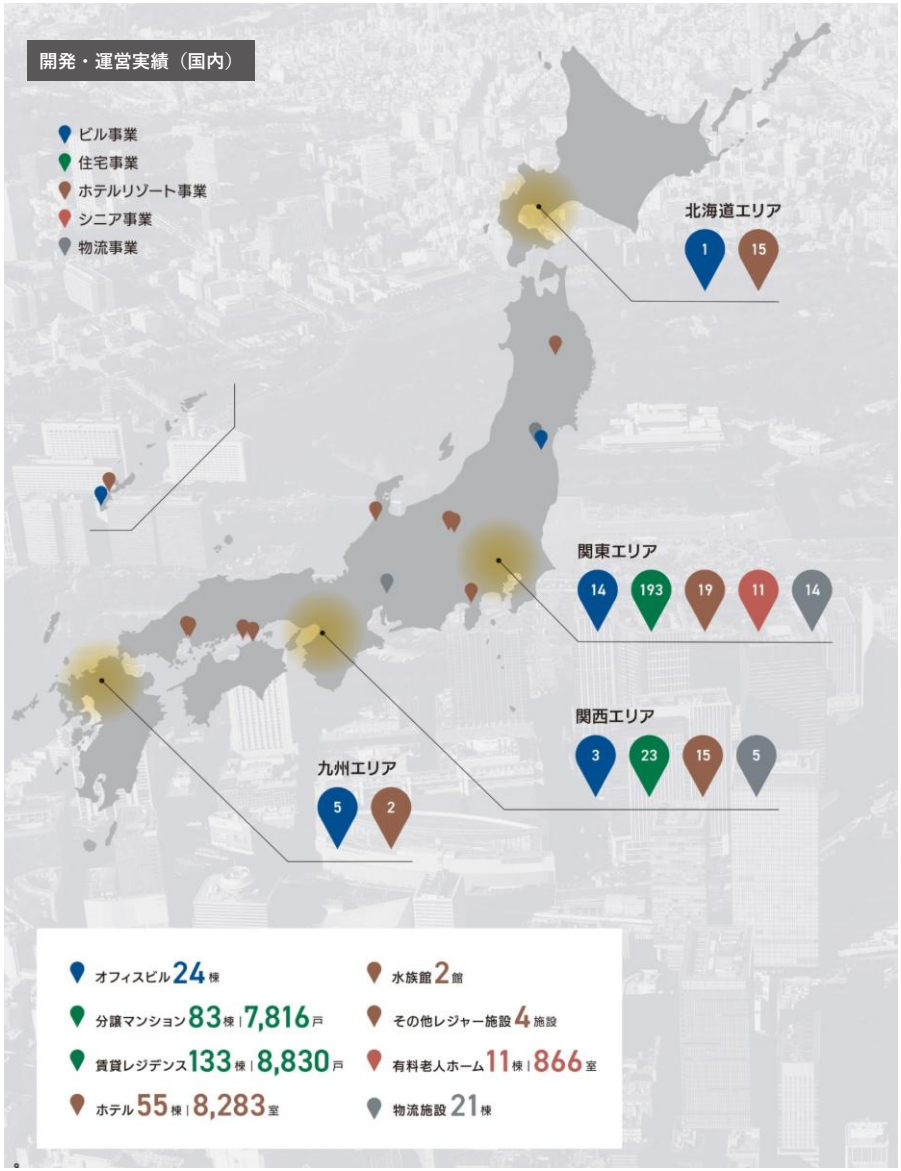
■営業利益

（単位：百万円）

	2025年度					2026年度					前期比
	賃貸事業	販売・売却事業	ﾎﾃﾙﾘｿﾞｰﾄ事業	その他修正等	合計	賃貸事業	販売・売却事業	ﾎﾃﾙﾘｿﾞｰﾄ事業	その他修正等	合計	合計
第１四半期	1,735	6,017	938	▲379	8,312	**1,031**	**6,609**	**249**	**▲426**	**7,464**	▲848
第２四半期	1,240	5,450	3,122	▲75	9,738	**1,132**	**▲570**	**1,967**	**▲609**	**1,919**	▲7,818
上期	2,976	11,468	4,061	▲455	18,050	**2,164**	**6,038**	**2,217**	**▲1,036**	**9,384**	▲8,666
第３四半期	1,667	1,376	704	703	4,452						
第４四半期	▲853	11,551	▲313	▲1,427	8,956						
下期	813	12,927	391	▲723	13,408						
通期	3,789	24,396	4,453	▲1,179	31,459						

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

サンケイビルグループ 物件ポートフォリオ



（2025年6月30日時点）

オフィスビル事業

東京サンケイビル

所在地▶
東京都千代田区大手町

竣工▶
Ⅰ期2000年
Ⅱ期2002年



オフィスビル事業

ブリーゼタワー

所在地▶
大阪府大阪市北区梅田

竣工▶
2008年



住宅事業

**ルフォン船堀
ザ・タワーレジデンス**

所在地▶
東京都江戸川区船堀

竣工▶
2025年



ホテルリゾート事業

**神戸須磨シーワールド・
神戸須磨シーワールドホテル**

所在地▶
兵庫県神戸市須磨区若宮町

開業▶
2024年



シニア事業

**ウェルケアヒルズ
馬事公苑**

所在地▶
東京都世田谷区上用賀

開設▶
2019年



物流事業

**SANKEILOGI
神戸北**

所在地 ▶
兵庫県神戸市北区鹿の子台

竣工 ▶
2025年



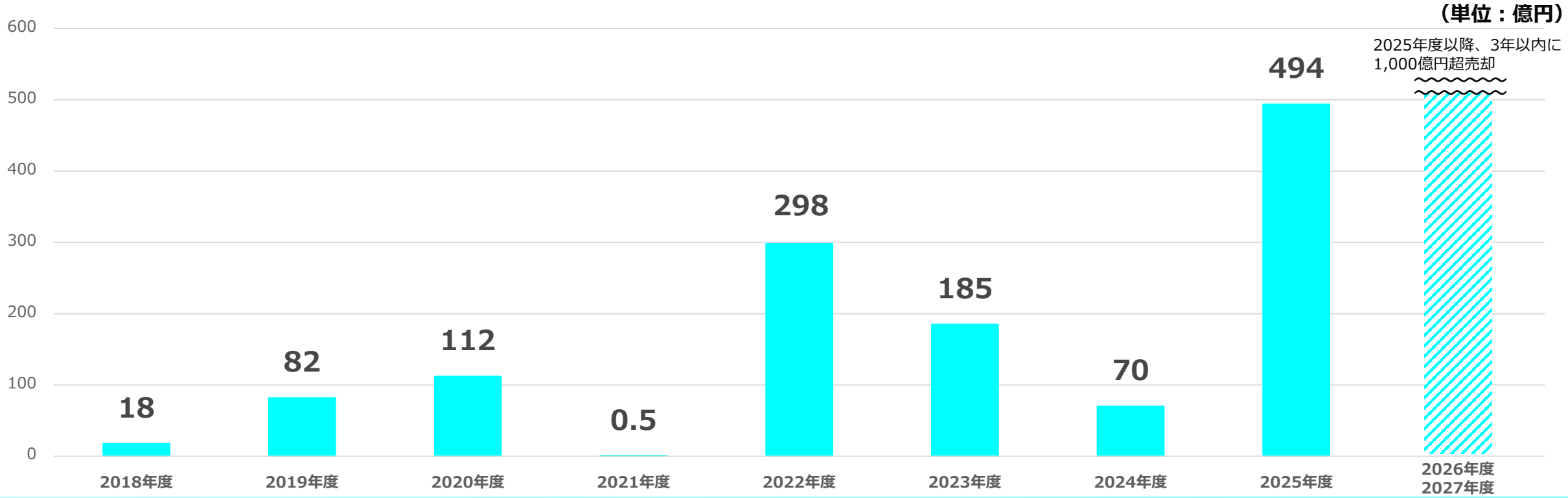
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

政策保有株式の縮減

考え方

取締役会において、銘柄ごとに、当社グループとの取引関係や規模、
当該企業の業績や配当、株価などの定量的な側面も考慮の上、保有の合理性・必要性を検証
保有意義の希薄化が認められる銘柄等については、縮減の対象として検討
2025年度以降、3年以内に1,000億円超を売却し、さらなる縮減を目指す

2018年度から2025年度までに約1,260億円の縮減



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

資本収益性関連数値（実績）

売上高当期純損益率（%）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
4.7%	8.7%	6.5%	▲3.7%	1.2%

総資産回転率（回）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
0.4	0.4	0.4	0.4	0.4

財務レバレッジ（倍）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1.7	1.7	1.7	1.8	2.7

A：ROE（%）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
3.2%	5.7%	4.4%	▲2.4%	1.0%

×

B：PER（倍）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
10.5	5.7	11.7	—	121.6

時価総額（百万円）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
260,882	265,748	428,440	529,428	569,071

親会社株主に帰属する当期純損益（百万円）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
24,879	46,855	37,082	▲20,134	6,499

=

A×B＝C：PBR（倍）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
0.33	**0.32**	**0.50**	**0.65**	**1.04**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第2四半期（中間期）　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

4 グループビジョンの進捗

5 サステナビリティの取り組み

6 **参考資料（第2四半期概要）**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

事業・業績概要（2026年7月～9月）

メディア・コンテンツ事業
増収増益（黒字化）

セグメント全体では増収増益（黒字化）

フジテレビは放送収入の回復やコンテンツビジネスの堅調な推移によって増収だったが、コンテンツ投資が増え減益
ビーエスフジの増収増益に加え、カタログ売却も貢献し、
セグメント全体では増収増益（黒字化）

■フジテレビ：増収営業損失幅縮小

□コンテンツ・ビジネス：増収増益
・デジタル：　FOD会員数の堅調な推移に伴い収入増
　　外部プラットフォーム向けコンテンツ販売も好調で増収
・アニメ　：「めざましテレビ」内放送中で映画も好調な「ちいかわ」や「パペットスンスン」等が貢献

□放送・メディア：増収増益
・放送収入：ネット・スポットを中心に前期比大幅回復
・配信広告：運用型を中心に、事案の影響から回復基調へ
・番組費　：ワールドカップサッカー、バレーボールアジア選手権放映権等で増加

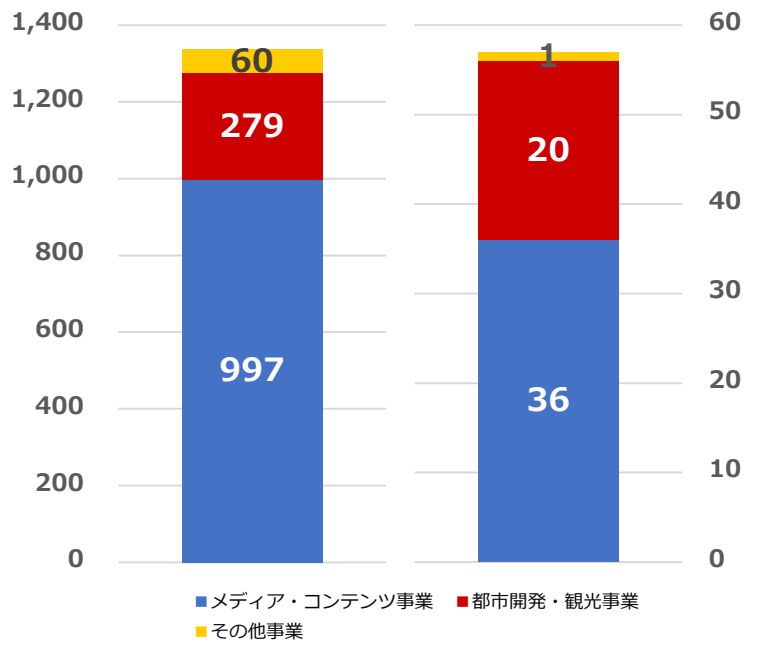
■各社：
□ビーエスフジ：
スポット増収、コストコントロールも奏功し、増収増益
□ポニーキャニオン：
オーディオ増収も、アニメ出資金評価損等で増収営業損失

連結
減収増益（黒字化）

売上高
1,288億円
（▲2.8%減収）

営業利益
49億円
（黒字化）

（単位：億円）



都市開発・観光事業
減収減益

「販売・売却」「観光」の反動減あり

サンケイビルは前期物件売却の反動減で減収
グランビスタはBLISSTIA SUITES & RESORT 沖縄恩納村稼働開始も、神戸須磨シーワールドのオープニング期からの反動減などにより、**セグメント全体では減収減益**

■サンケイビル：減収営業損失
□**賃貸**：オフィス、レジデンス等の賃貸収入は引き続き堅調
　新規稼働物件に係る初期経費等の発生が影響し、増収減益
□**販売・売却**：前期のレジデンス・ホテル売却の反動減あり

■グランビスタ ホテル＆リゾート：微減収減益
・札幌グランドホテルが好調に推移、また、BLISSTIA SUITES & RESORT 沖縄恩納村、YOKI MATSUSHIMAの稼働が開始

・一方、神戸須磨シーワールドのオープニング期からの反動減や、銀座グランドホテルの改装休館影響あり

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

連結 決算概要（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

	2025年度 2Q	2026年度 2Q	対前期増減	
売上高	132,559	**128,823**	▲3,736	▲2.8%
営業損益	▲210	**4,979**	5,190	―
経常損益	▲235	**4,235**	4,470	―
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,037	**3,782**	▲12,255	▲76.4%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 売上高及び営業損益（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

	事業セグメント				計	調整額	連結損益計算書計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
売上高	**2026年度2Q**	**99,742**	**27,967**	**6,082**	**133,793**	**▲4,969**	**128,823**
	2025年度2Q	80,711	50,360	6,203	137,275	▲4,716	132,559
	増　減	19,030	▲22,393	▲120	▲3,482	▲253	▲3,736
	増減（%）	23.6%	▲44.5%	▲1.9%	▲2.5%	—	▲2.8%
営業損益	**2026年度2Q**	**3,628**	**2,036**	**101**	**5,765**	**▲786**	**4,979**
	2025年度2Q	▲8,874	9,700	294	1,119	▲1,330	▲210
	増　減	12,503	▲7,663	▲193	4,645	544	5,190
	増減（%）	—	▲79.0%	▲65.6%	414.8%	—	—
営業損益率	**2026年度2Q**	**3.6%**	**7.3%**	**1.7%**	**4.3%**	**—**	**3.9%**
	2025年度2Q	▲11.0%	19.3%	4.8%	0.8%	—	▲0.2%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 会社別概要（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度 2Q	**2026年度 2Q**	前期比	2025年度 2Q	**2026年度 2Q**	前期比	2025年度 2Q	**2026年度 2Q**	増減
フジテレビジョン	35,649	**56,353**	20,704 (58.1%)	▲11,023	**▲303**	10,719 (—)	▲30.9%	▲0.5%	30.4%
ビーエスフジ	3,506	**3,817**	310 (8.9%)	498	**833**	334 (67.2%)	14.2%	21.8%	7.6%
ニッポン放送	3,163	**3,520**	357 (11.3%)	192	**230**	37 (19.5%)	6.1%	6.5%	0.4%
フジクリエイティブコーポレーション	3,622	**3,127**	▲495 (▲13.7%)	428	**114**	▲313 (▲73.2%)	11.8%	3.7%	▲8.1%
共同テレビジョン	3,226	**2,476**	▲750 (▲23.2%)	84	**▲199**	▲283 (—)	2.6%	▲8.1%	▲10.7%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 会社別概要（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度 2Q	**2026年度 2Q**	前期比	2025年度 2Q累計	**2026年度 2Q**	前期比	2025年度 2Q	**2026年度 2Q**	増減
ポニーキャニオン	7,145	**7,178**	32 (0.5%)	▲520	**▲853**	▲333 (—)	▲7.3%	▲11.9%	▲4.6%
フジパシフィックミュージック	2,840	**3,034**	194 (6.8%)	175	**311**	136 (77.6%)	6.2%	10.3%	4.1%
ｄｉｎｏｓ	10,013	**9,718**	▲294 (▲2.9%)	▲194	**▲32**	162 (—)	▲1.9%	▲0.3%	1.6%
クオラス※	10,632	**7,395**	▲3,237 (▲30.4%)	834	**601**	▲232 (▲27.9%)	7.8%	8.1%	0.3%
その他及びセグメント内修正等	911	3,119	—	649	2,925	—	—	—	—
セグメント合計	80,711	**99,742**	19,030 (23.6%)	▲8,874	**3,628**	12,503 (—)	▲11.0%	3.6%	14.6%

※クオラスの広告出稿の実取扱高を含めた売上高は前期17,702百万円、当期13,931百万円。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 決算概要（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

	2025年度 2Q	2026年度 2Q	対前期増減	
売上高	35,649	**56,353**	20,704	58.1%
営業損益	▲11,023	**▲303**	10,719	—
経常損益	▲10,971	**▲178**	10,793	—
四半期純損益	▲11,132	**331**	11,464	—

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

内訳別の収入及び粗利益（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

		内訳		計
		コンテンツ・ビジネス	放送・メディア	
収入	**2026年度2Q**	**20,248**	**36,105**	**56,353**
	2025年度2Q	17,455	18,193	35,649
	増　減	2,792	17,911	20,704
	増減（%）	16.0%	98.4%	58.1%
粗利益	**2026年度2Q**	**6,050**	**7,766**	**13,816**
	2025年度2Q	5,815	▲7,180	▲1,364
	増　減	234	14,946	15,181
	増減（%）	4.0%	—	—

粗利益率	**2026年度2Q**	**29.9%**	**21.5%**	**24.5%**
	2025年度2Q	**33.3%**	—	—

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

コンテンツ・ビジネス 収入と原価（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

	2025年度 2Q	2026年度 2Q	対前期増減	
コンテンツ・ビジネス収入	**17,455**	**20,248**	**2,792**	**16.0%**
ライブエンタテインメント事業収入	2,443	1,809	▲634	▲26.0%
映画事業収入	2,007	2,036	28	1.4%
デジタル事業収入	5,843	7,632	1,788	30.6%
MD事業収入	1,152	1,840	687	59.6%
アニメ事業収入	1,597	2,759	1,161	72.7%
ビデオ事業収入	282	179	▲103	▲36.5%
グローバル配信事業収入	816	565	▲251	▲30.8%
CS事業収入	2,785	2,830	45	1.6%
その他の収入	525	595	69	13.3%
コンテンツ・ビジネス原価	**11,640**	**14,197**	**2,557**	**22.0%**
コンテンツ・ビジネス粗利益	**5,815**	**6,050**	**234**	**4.0%**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

放送・メディア 収入と原価（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

	2025年度 2Q	2026年度 2Q	対前期増減	
放送・メディア収入	**18,193**	**36,105**	**17,911**	**98.4%**
放送収入	**13,118**	**30,397**	**17,279**	**131.7%**
タイム	6,585	16,835	10,249	155.6%
（ネットタイム）	5,195	15,192	9,997	192.4%
（ローカルタイム）	1,390	1,642	252	18.1%
スポット	6,532	13,562	7,029	107.6%
その他の放送・メディア収入	**5,075**	**5,707**	**632**	**12.5%**
配信広告	919	1,523	604	65.7%
番組販売	3,532	3,189	▲342	▲9.7%
その他	623	994	371	59.5%
放送・メディア原価	**25,373**	**28,339**	**2,965**	**11.7%**
放送・メディア粗利益	**▲7,180**	**7,766**	**14,946**	**—**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

スポット収入 業種別動向（2026年7月～9月）

（2026年7月～2026年9月）※管理ベース

業種	2025年度 2Q	2026年度 2Q	対前期増減
情報・通信・放送	14.4%	17.3%	152.5%
化粧品・トイレタリー	5.3%	10.3%	314.5%
外食・各種サービス	18.3%	9.9%	14.0%
食品	5.7%	7.7%	182.3%
金融・保険	4.1%	5.8%	199.0%
流通・小売業	6.7%	5.4%	71.5%
自動車・関連品	1.9%	5.3%	480.9%
不動産・住宅設備	5.2%	4.8%	94.8%
出版・エンタテイメント	9.9%	4.6%	▲1.4%

業種	2025年度 2Q	2026年度 2Q	対前期増減
医薬品・医療用品	4.7%	4.6%	105.2%
交通・レジャー・観光	7.7%	4.5%	21.5%
事務・精密・光学機器	0.3%	4.0%	2514.9%
非アルコール飲料	2.8%	3.3%	146.2%
衣料・身回品・雑貨	4.7%	3.1%	40.6%
アルコール飲料	2.6%	2.7%	122.4%
家電・ＡＶ機器	1.7%	1.6%	96.1%
電話サービス	―	1.5%	―
エネルギー・機械	0.3%	0.8%	541.6%
その他	3.8%	2.8%	54.3%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業 会社別概要（2026年7月～9月）

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度2Q	**2026年度2Q**	前期比	2025年度2Q	**2026年度2Q**	前期比	2025年度2Q	**2026年度2Q**	前期比
サンケイビル	26,970	**7,649**	▲19,320 (▲71.6%)	6,050	**▲415**	▲6,465 (—)	22.4%	▲5.4%	▲27.8%
グランビスタホテル&リゾート	13,529	**13,496**	▲33 (▲0.2%)	2,799	**1,747**	▲1,052 (▲37.6%)	20.7%	12.9%	▲7.8%
その他及びセグメント内修正等	9,861	6,821	—	850	704	—	—	—	—

■参考：サンケイビルグループ連結事業別内訳（FMHとは連結対象が異なります）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度2Q	**2026年度2Q**	前期比	2025年度2Q	**2026年度2Q**	前期比	2025年度2Q	**2026年度2Q**	前期比
賃貸事業	6,061	**7,083**	1,021	1,240	**1,132**	▲107	20.5%	16.0%	▲4.5%
販売・売却事業	20,919	**593**	▲20,326	5,450	**▲570**	▲6,021	26.1%	▲96.3%	–
ホテルリゾート事業	15,230	**15,169**	▲60	3,122	**1,967**	▲1,155	20.5%	13.0%	▲7.5%
その他及びセグメント間修正等	8,928	**5,986**	▲2,942	▲75	**▲609**	▲533	–	–	–

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、
目標、予想数値等、将来に関する記述が含まれている場合があります。
実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等
さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

フジ・メディア・ホールディングス

【HP】
https://www.fujimediahd.co.jp/

【統合報告書】
https://www.fujimediahd.co.jp/ir/integrated.html

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.